

異世界NTR

王子を助けただけなのにΦ



蛸壺屋

クエスト編

異世界NTR 王子を助けただけなのに クエスト編

異世界NTR

王子を助けただけなのに クエスト編



TAKOTUBOYA



物語の簡単な
位置関係です



それでは
これより

ウエストランド
国立騎士学校4回生
ネイサン・メイヤー

クロード・リッチマン
による

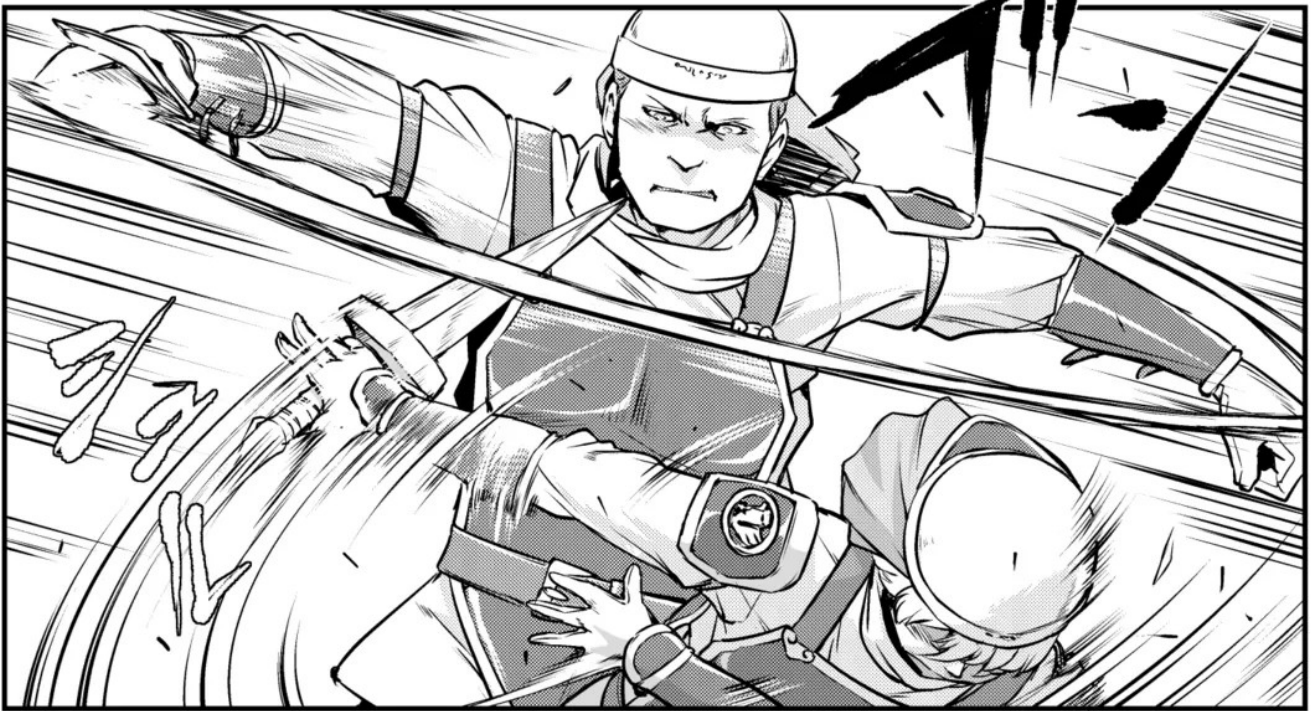
剣技コンペテイション
決勝を開始する

始めッ

どっちかな

ネイサン背低いから
クロード有利じゃね

メイヤー君
カワイイから
応援したい!



なあお前ら
一つ提案だが次の
『竜の森クエスト』

この三人で
最強パーティー
組まねえか

お前ら互いの親に
認められたいんだろ
俺も絶対勝ちてえ

みんな聞いて！
今日はネイサンが
剣技の大会で優勝したの

やっぱり
勇者だった父様の血を
引いて天才なのね！

母様のメイヤー家も
騎士を沢山出してるのよ

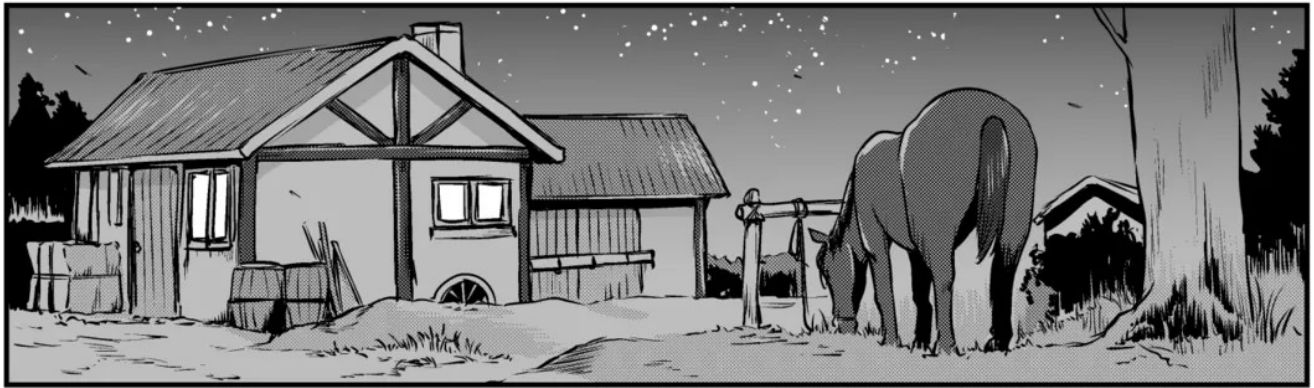
今度の
『竜の森クエスト』で
優勝すれば国王から
爵位を賜ってまた
宮廷へ戻れるかも！

私とネイサンは
母様に嫉られた
貴族趣味のせいで
近所の子に散々笑わ
れて苦労したわ

なんて事言うの！
心まで平民になって
は駄目よソラ

ドラゴンを倒した
父様は当時の
娘達のヒーロー
だったのよ！

ところが一緒になったら
こんな貧乏暮らし！
全く百年の不作だわ





ネイサン
我家の復興は
貴方の肩に
掛かってるわ

必ず優勝して
国王に謁見して
ちようだい!

これを
持っていけ

これは父様の
ドラゴンスレイヤー!
家宝じゃないですか

このサイズで竜を
倒せる魔剣ですよ



大きな声じや言えないが
実際の竜は大きくない

父さんが倒した
森ドラゴンの体長は
1.2メートルだ

レッドドラゴン
になると3メートル
くらいのもいるが
飛んでた名残で
体は細くて軽い

臆病で人を避ける
からまず出会わないし
大きな体を維持する
ために草食だ
他の剣と同じだよ

まったく
本当のことなんて
知りたくなかったわ



竜の森クエスト
のゴールは
宗主国タンの城

国境の川を超えて
直線で50マイルだ

※約80 km



しかし
森は深く
山脈が縦走していて
まともな山道もない

魔物との
遭遇も考えると
一日10マイル進めれば
いい方だろう

余裕を持って
7日で予定を
立てている

さて
行くか

優勝して
タン国王に
謁見だ

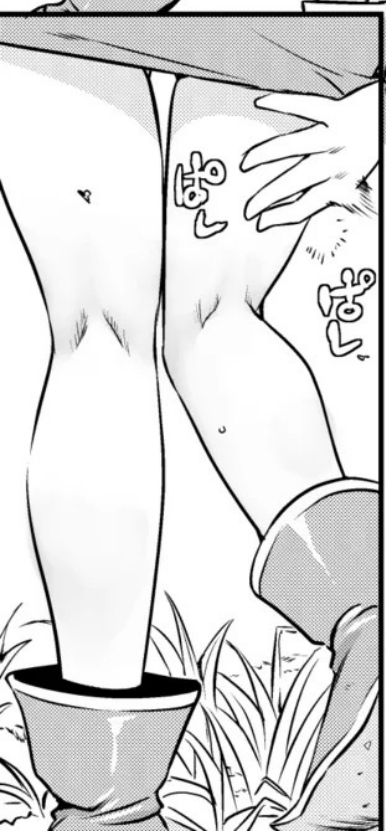
イエーイ!



ひー一週間分の
食べ物重いー

今だけだよノーラ
毎日軽くなっていく

わあ
こんな高い木
見たことない!





うわ
また蜘蛛の巣だ

もー何なの
虫が多くて
サイテー！

何で生足
出してんだ
ズボンで来いよ



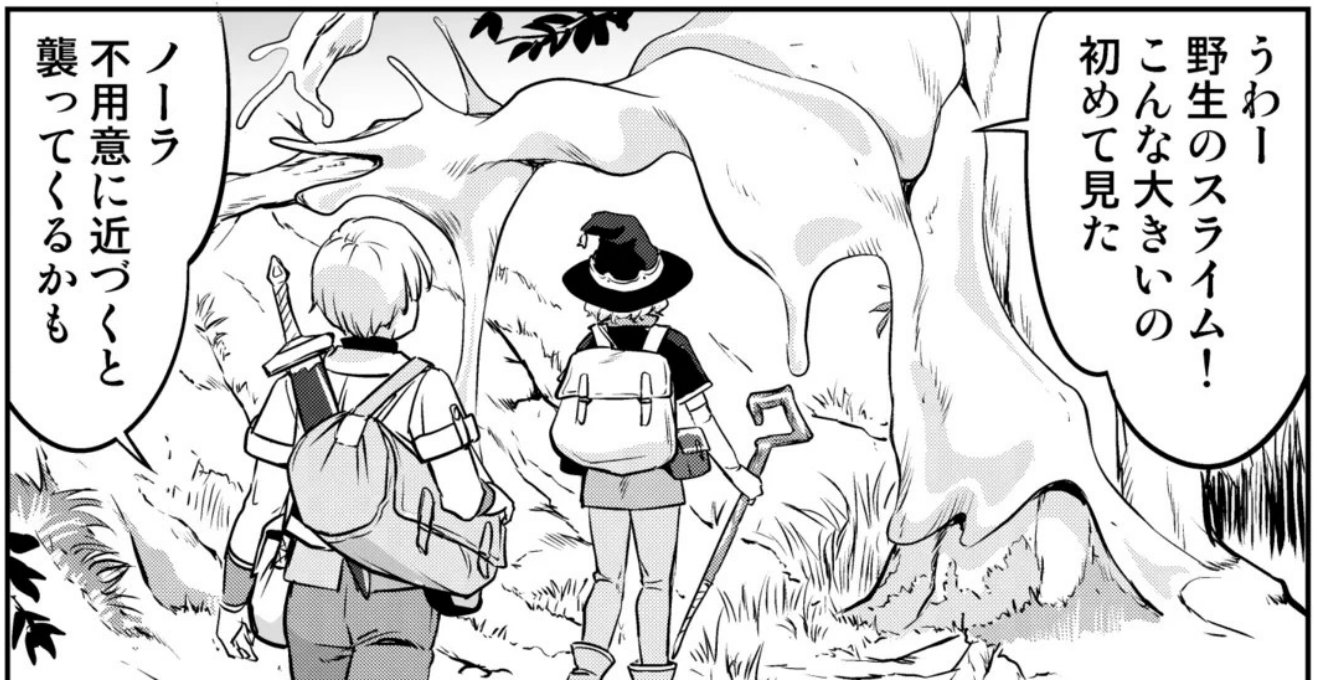
クロード
覗かないでよ

くだらん
タイムロスだ！
早くしろ



ノーラ
穿くもの持って
来てないの？

……
……
……
来てる



うわー
野生のスライム！
こんな大きいの
初めて見た

ノーラ
不用意に近づくと
襲ってくるかも



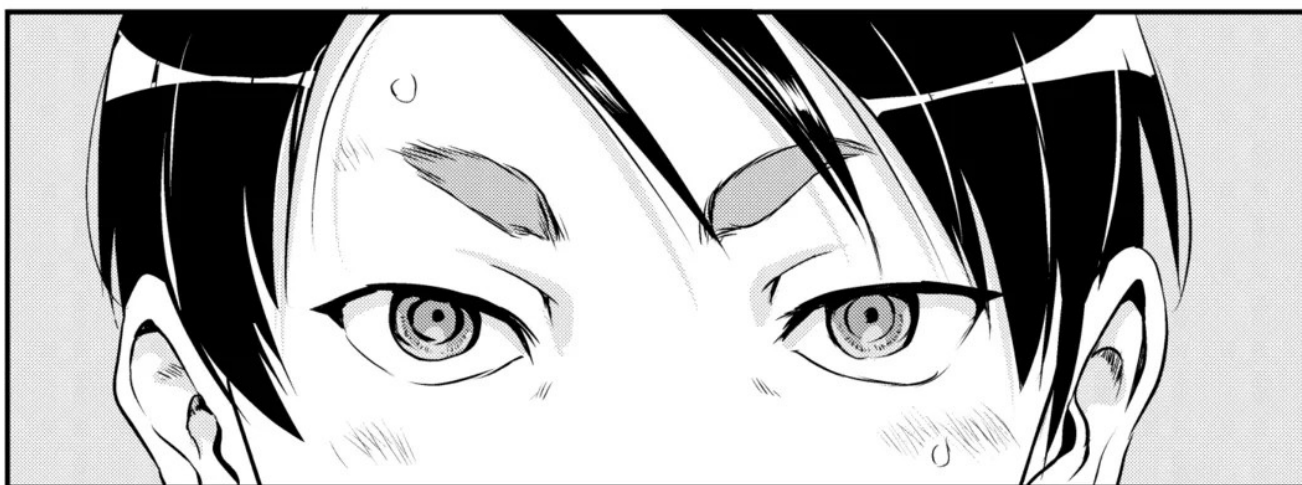


ホーンボアだ
大きいのでなく
良かった

オイそこの
アンタ無事か
独りなのか？

ああ
ああ…

助かった
礼を言うよ



黒髪：
言葉の
アクセントも
少し違う…
タン国の者か？

ネイサン
クロード

もー最悪！
詠唱しながら走ったせいで
泥スライムに突っ込んだじゃった



なあ君ら
竜の森クエストの
生徒だろ

俺も行き先は
タン城だから一緒に
行っっていいか？

装備や荷物を
失くしちまってさ

それと君
泥スライムなら
すぐ体を洗わないと
痒くなるよ

この先に
泉がある

ほしや

ほしや

えーと、
ちよつと待つて
私男三人連れて

こんな外で
スツ裸になつて
信じらんない

今ネイサンが
こつち来たら

ひー！
全部見られ
ちやうかも！！

ヒヤウ

あの一
誰かいる？

ネイサン？





ま：待て誤解だ！
悪気はない
ノーラが嫌がる
なんて思わなくて

ノーラだあ？
ついにお前何歳だ
ずっとタメ口
利きやがって

じゅ：
じゆうなな

2個下ね…

ガキが見境なく
サカってんじゃねーぞ

お前な

まだ彼女に
出会って一日も
経ってないだろ

なんで
許されると
思ったんだ？

相手の気持とか
考えないのか

もういいネイサン
こんな奴森へ
放つぽり出そうぜ

それはダメよ：
魔物だらけだし
私はもういいから

聞いての通りだ
君を夜中に
追出しはしないが
少し離れて寝るんだ
ノーラに感謝してな

分かった

……

え…
タン国の

王子!?

ああ
隠すつもりは
無かったんだが

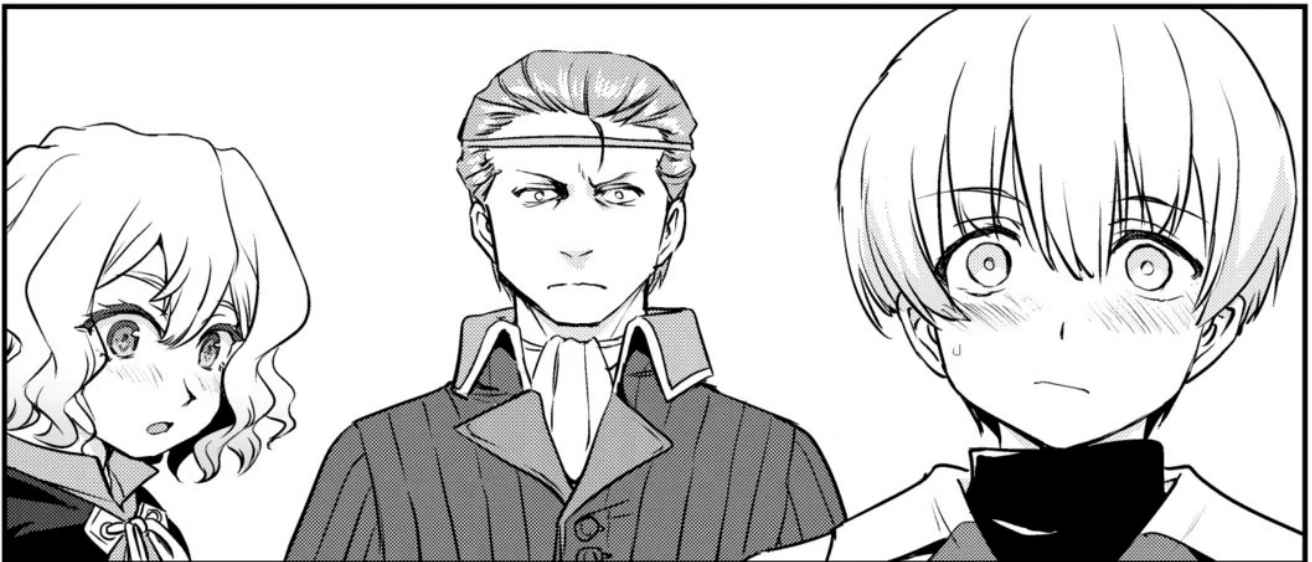
ワシも自力で
竜の森クエストを
やってみたくてな

しかし危うく
死ぬところだった

もう十分だ

君たちは命の恩人だし
いつまでも騙すのは
心苦しい

国王謁見はワシが
取り計らうから
今から馬車で
タン城へ向かおう





《竜の森クエスト》は元々
タン国に征服された周辺の国が
毎年タン城へ朝貢に訪れた
『黒髪族の軛』が起源だ

今でも宗主国の
名残りで爵位の授与は
全てタン城で行われるし

君達は
ワシが推薦しよう

さあ森の外に
従者が待機してる
から戻ろう



たまげた展開だな
ホントかよ

戻るなら
クエストはここで
中止かな…

でもクエストって

《森の踏破》

《魔物の退治》

《人命救助》

3つの総合点だから

王子助けて国王謁見なら
クリアってことじゃない？



気にしない
でくれ

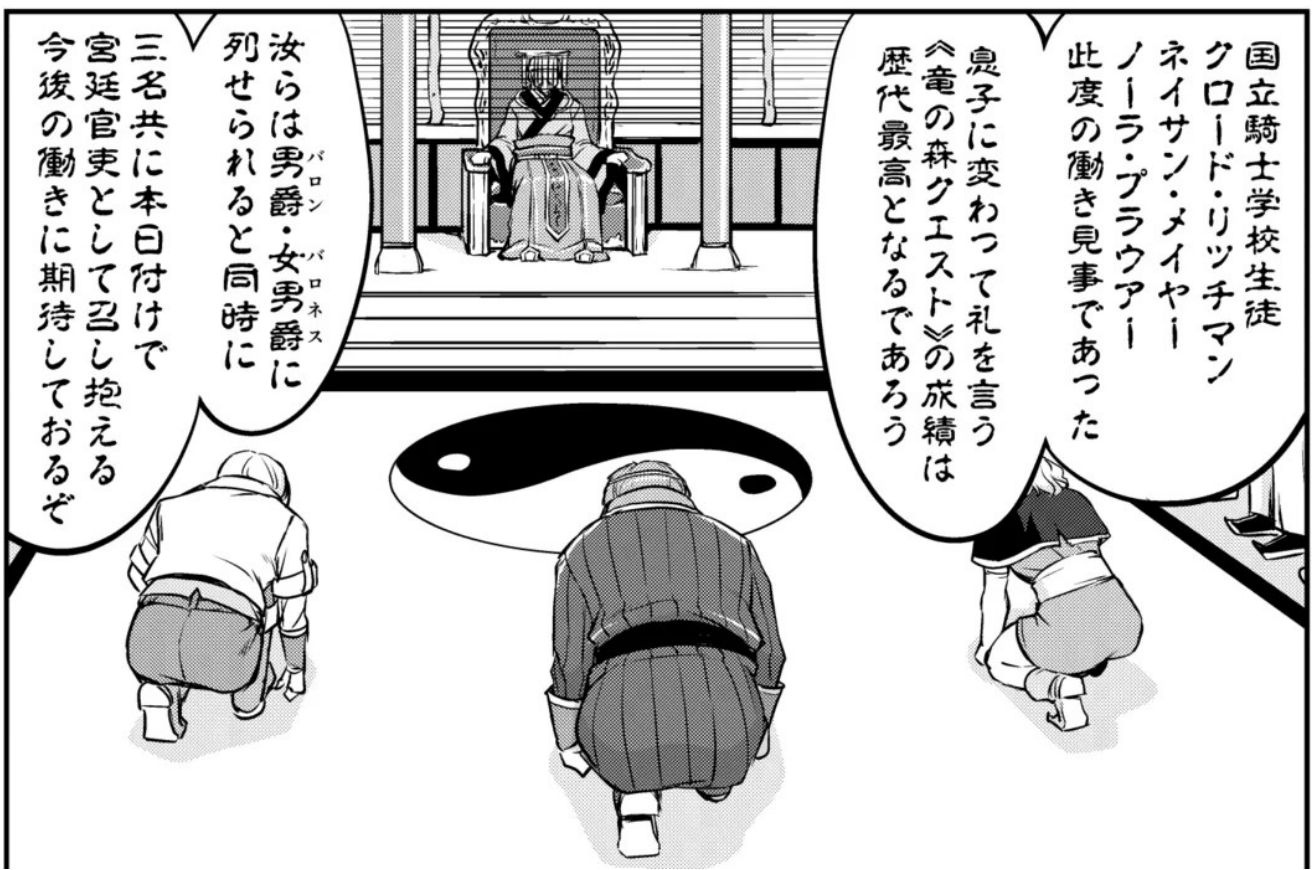
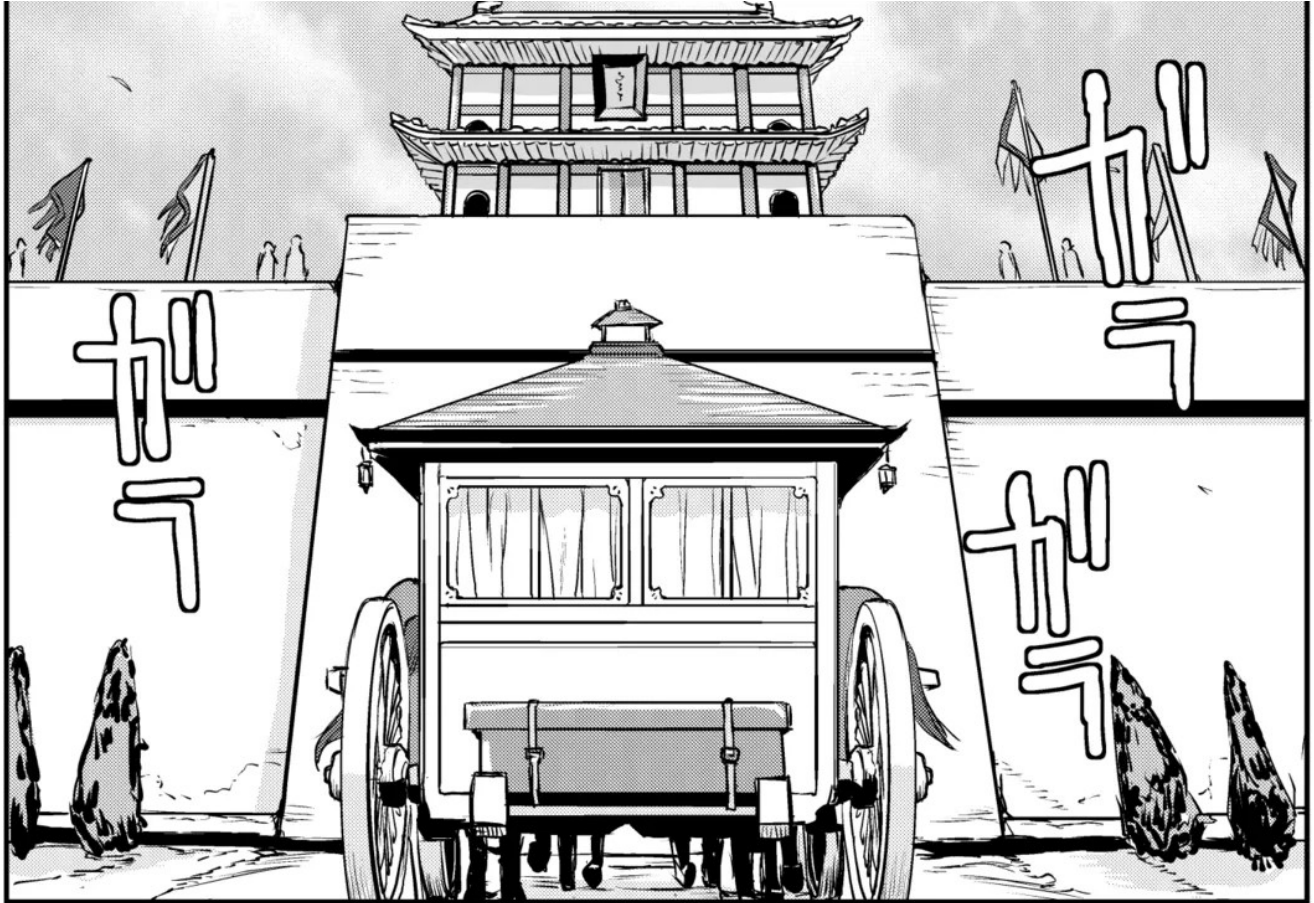
黒髪族は
受けた借りは
必ず返すんだ

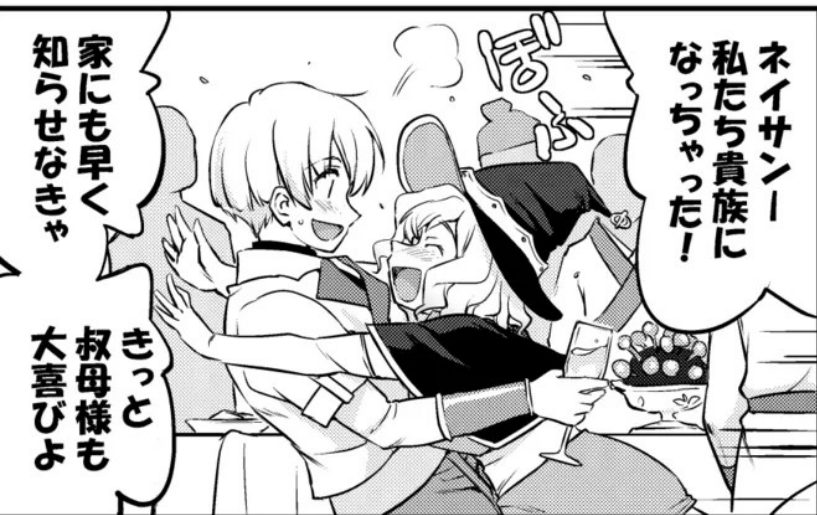


なあ

アンタが本当に
王子なら

その…
昨晩は殴って
悪かったな…





家にも早く
知らせなきゃ

きっと
叔母様も
大喜びよ

ネイサン！
私たち貴族に
なっちゃった！



信じられるか！
俺ら明日から
宮廷勤務だぜ

正直クエスト
は食い足り
なかったが

こうなりや
結果オーライだ

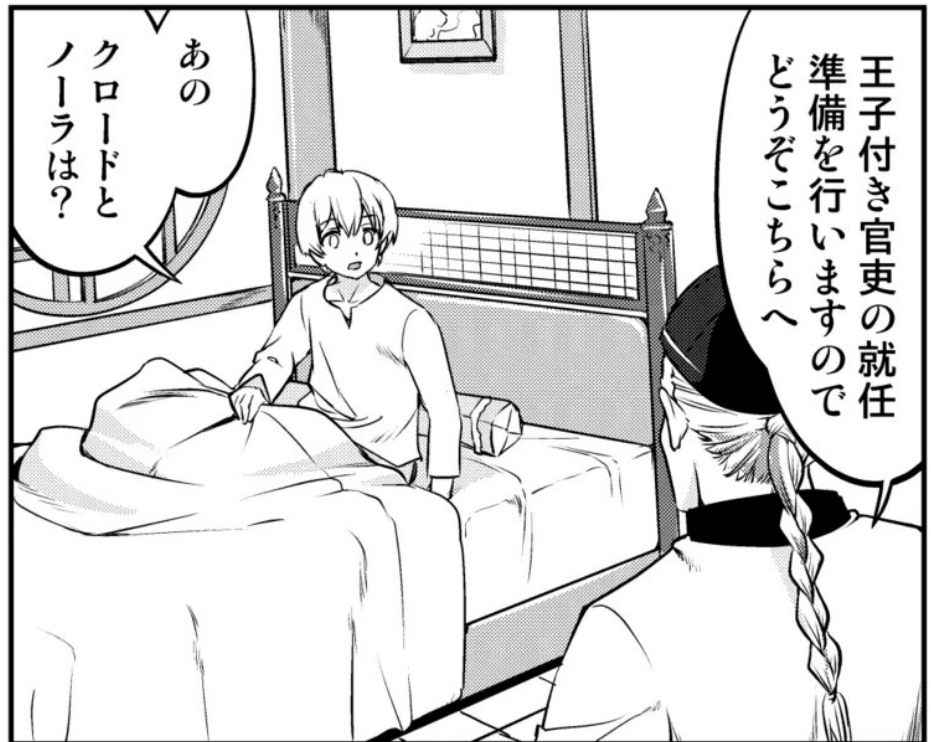
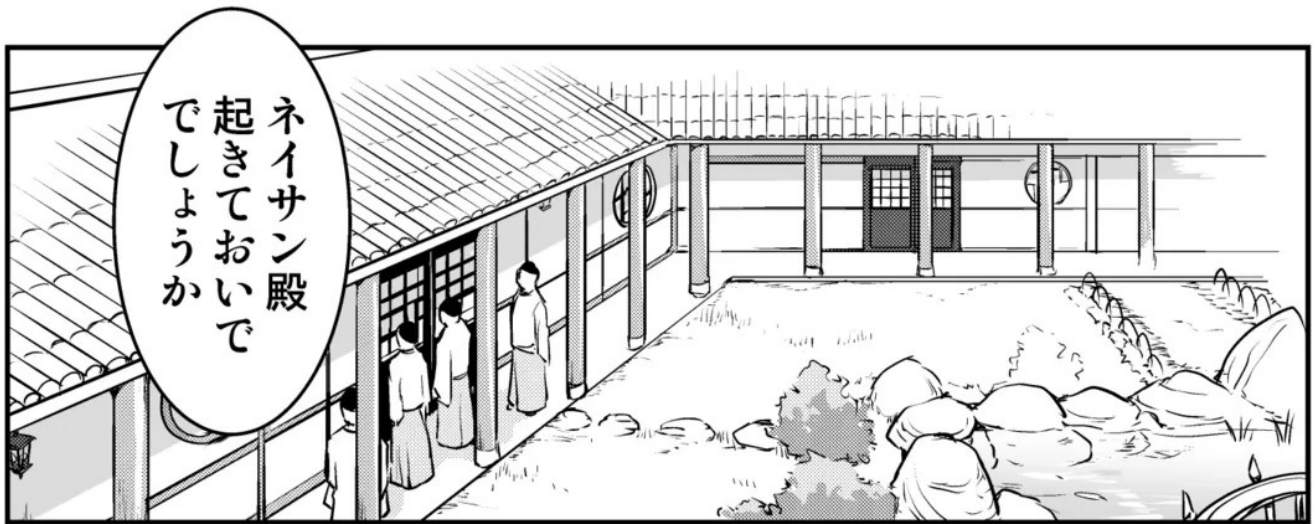


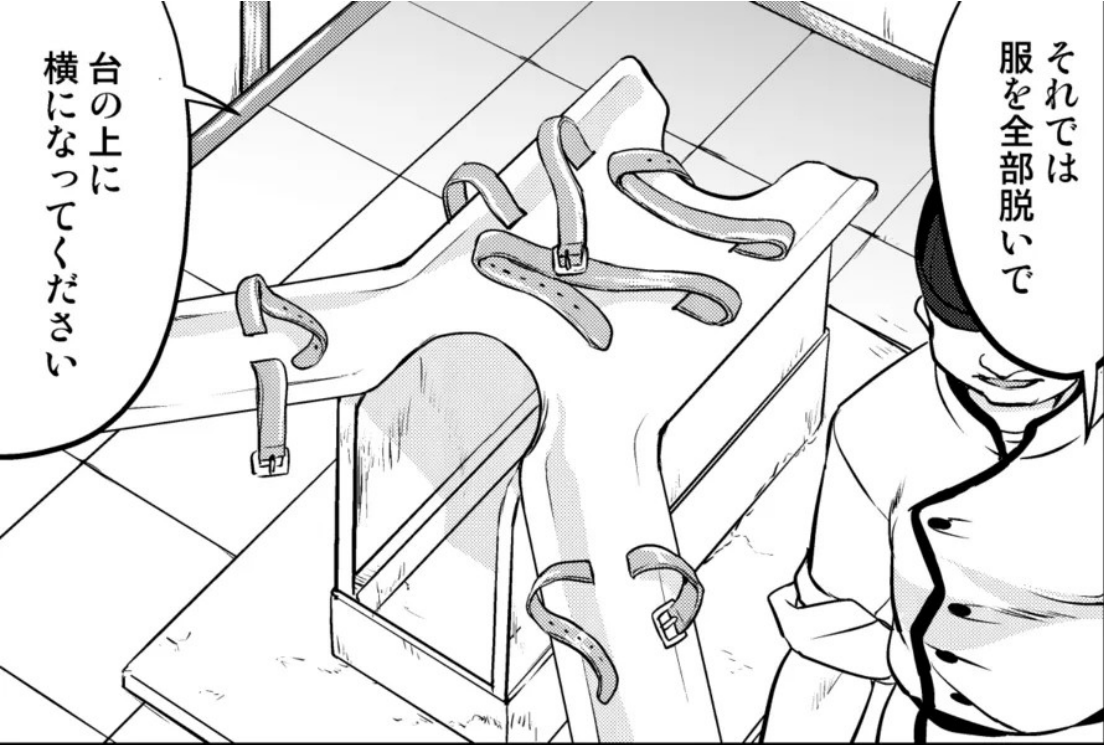
メイヤー
家は

貴族に
返り
咲いた



父様母様 やりましたよ





それでは
服を全部脱いで

台の上に
横になってください



お連れしました

ガチャ



ちよつちよつと！
待ってください

一体何を
するんです!?



あ…はは

ちゃんと
仕事はやるから
出番が来たら
呼んでくれ



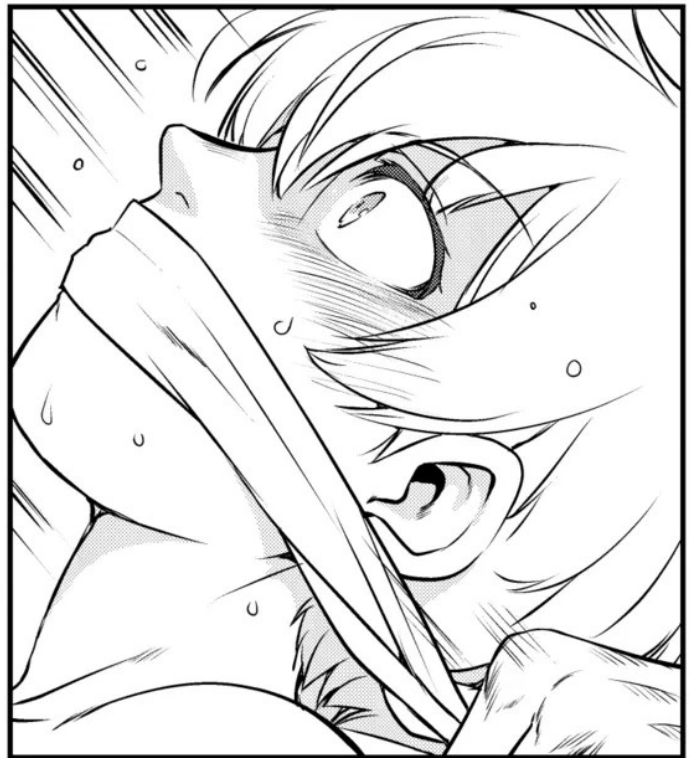
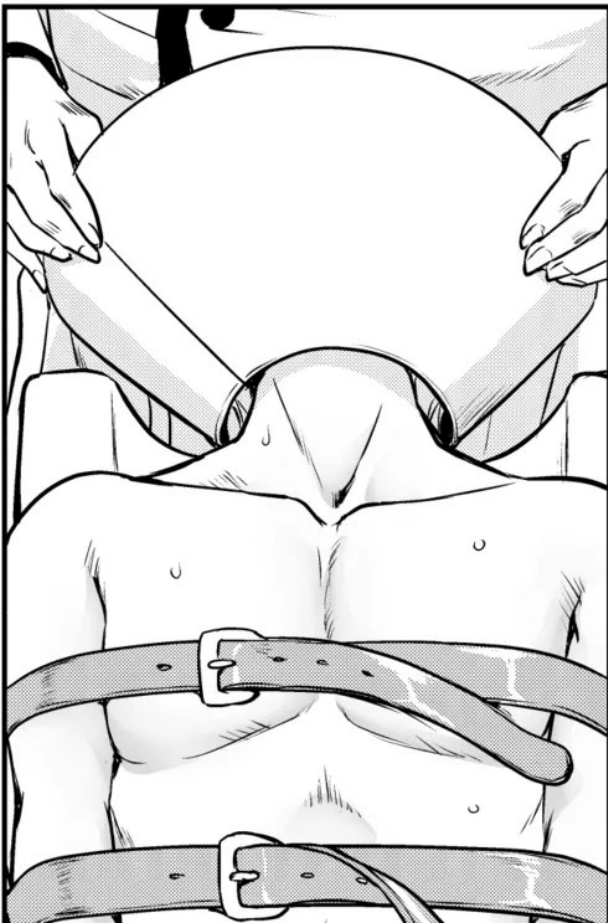
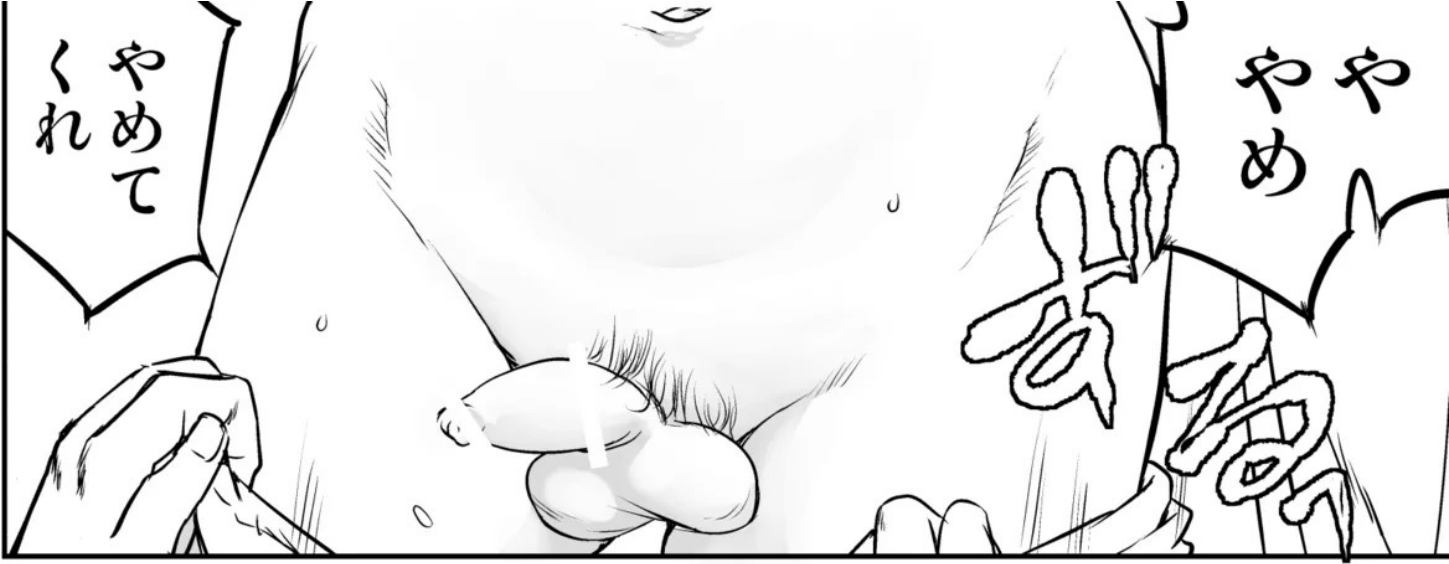
ぶひやひやひや

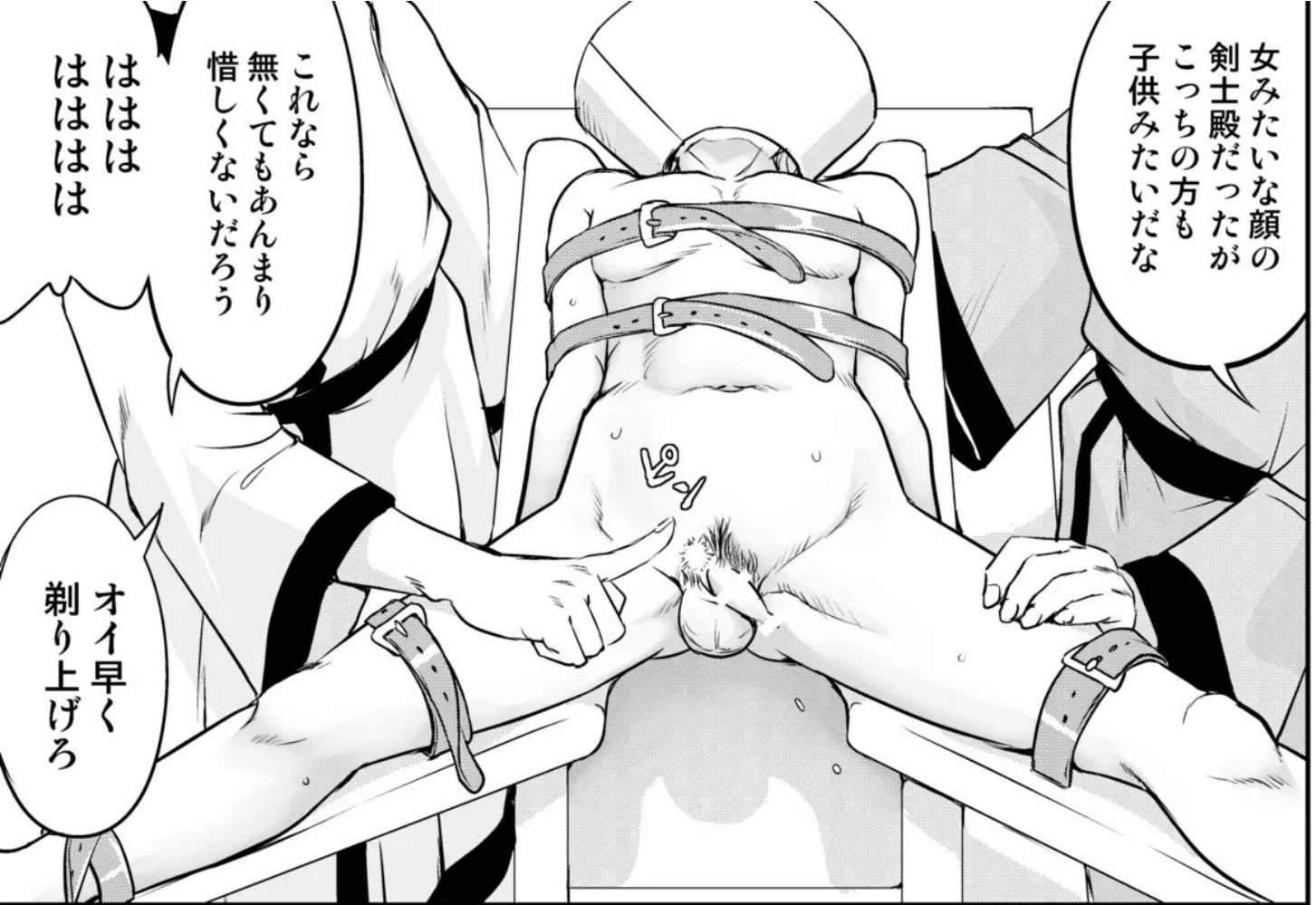
傷は医術魔道士の
先生が処置されます
ので御安心を



あなたは殿下付きの
宦官に任命され
ました

異例の抜擢で
大変名誉なことです





女みたいな顔の
剣士殿だったのが
こっちの方も
子供みたいだな

これなら
無くてもあんまり
惜しくないだろう

ははは
ははは
ははは

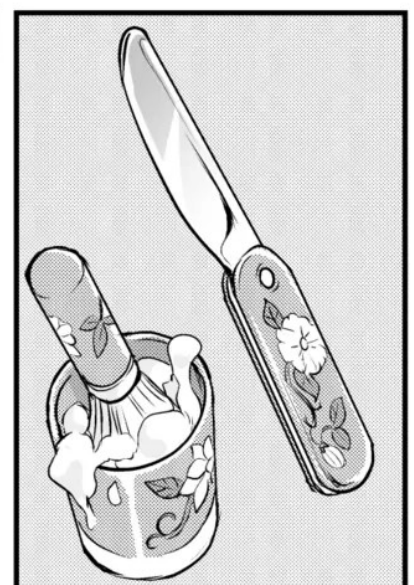
オイ早く
剃り上げろ



危ないので
動かないで
くださいね

どうせ切るから
好きに動いても
いいぞ

それも
そうか



人生最後の勃起だ
哀れよの

クニクニ

我々は
仲間が増える瞬間を
見るのが大好きでね



おっ



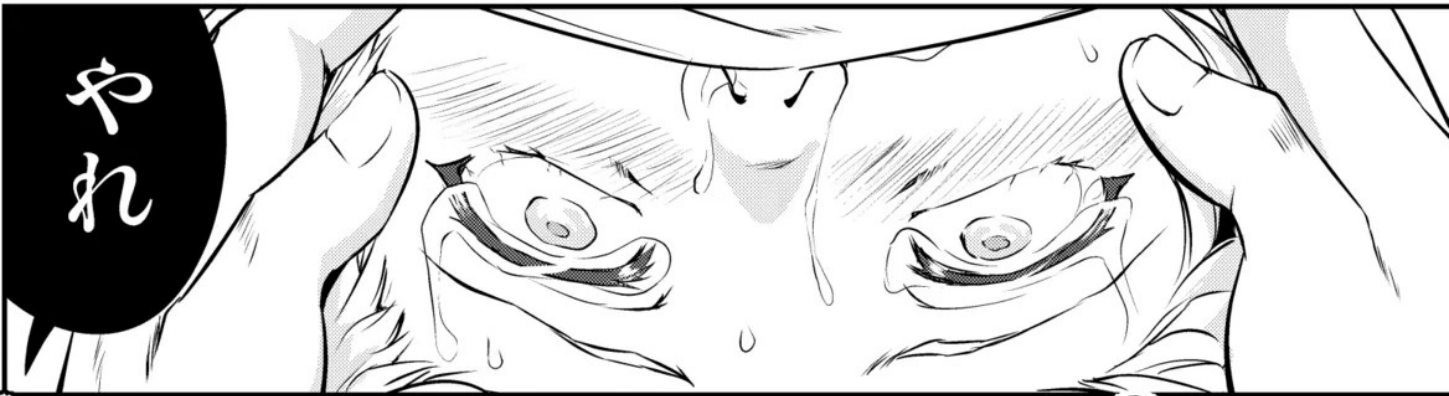
この油を
塗っておけば
もう生えないから
股間を清潔に保てますよ

立派な剣をお持ちだ
自らの剣で切り落し

殿下への忠誠を
証しされるがよい

ホラそんな
泣かなくて
よろしい

すぐに
済みます



やれ





殿下

ネイサン・メイヤー
クロード・リッチマン
二名の献上物をお持ちしました



ネイサン?
…ああ

森で助けてくれた二人か
見せてみる

ほう
こっちの大きい方が
私を殴った奴で



小さい方が
説教した奴だな…
何じやこりや
まるで童子だ

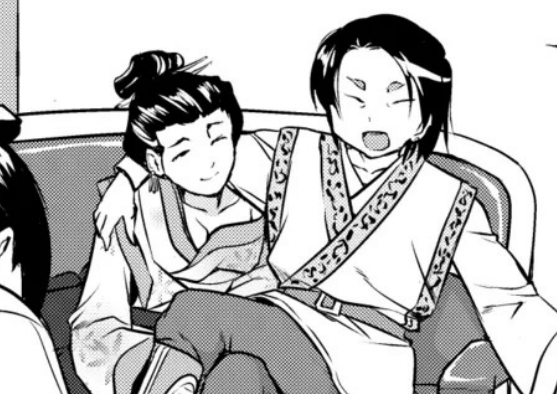


はははは
ははは
よいよい



平民から宦官に
取立ててやったのだ
感謝して忠義に
励むことだろう

もう一人
魔法使いの
女がいたと
思うが



はい
殿下の側女に
加わるべく

後宮にて
大奥様の侍女として
修行に入っております

イト

後宮

脱ぎ
なさい

お前が
殿下の側女に
相應しいか

私が
検分します



ち…違うんです

私達三人は
竜の森クエスト中に
たまたま
王子様に会って…

会って!?

お…お会い
しまして!

お礼と歓待を
受けただけ
なんです



だから：
すでに功成り
名を遂げた今

もう3人で
家に帰りとう
ございます

私はそんなことを
聞いたかしら？

ユンファ侍女長
お茶を飲んできます

戻った時には
円滑に進むこと
と思います

あなた
何やってるの！

大奥様の
仰ることは
すぐに従うの
命が
惜しく
ないの？

え？

ここじゃ大奥様と
侍女長様は絶対なの

よく我慢して
くださったわ！
でも次はないわよ

大奥様と張り合って
手足を切り落とされ
『人豚』として厠に
繋がれた貴族がいるわ

大奥様に
嘘を吐いたり
反抗した侍女は
壺に詰められて
死ぬまで何年も地下に
並べられるのよ…

皆さん
新しい妹を怖がら
せてはいけませんよ

侍女長さま！

ノーラ 難しく考えず
流れに身を任せなさい
そうすればここで
いい暮らしが
出来るのよ

で…でも
私はネイサンと
故郷に帰りたいです…

クリステイ
いらっしやい

ハイ

クリステイはね
貴女達と同じ
ウエストランド出身よ
国立騎士学校は
文武両道で首席卒業
貴女の大先輩ね

気が強くて
ここに来た当初は
何かと反抗してたけど
今では可愛い妹の一人よ

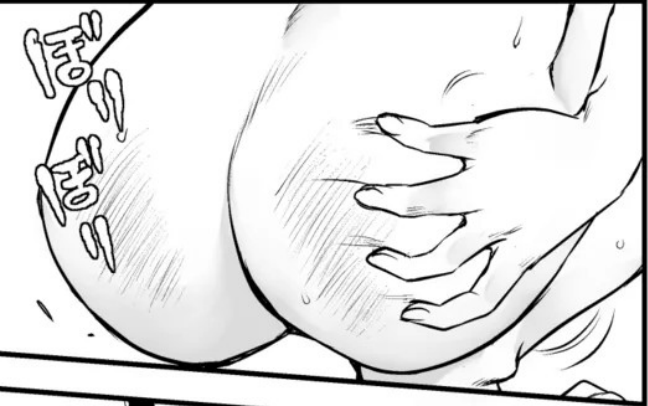
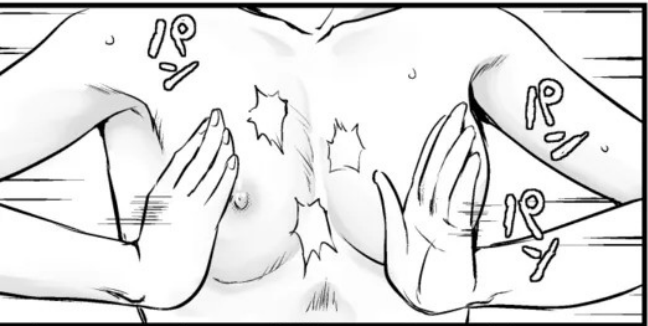
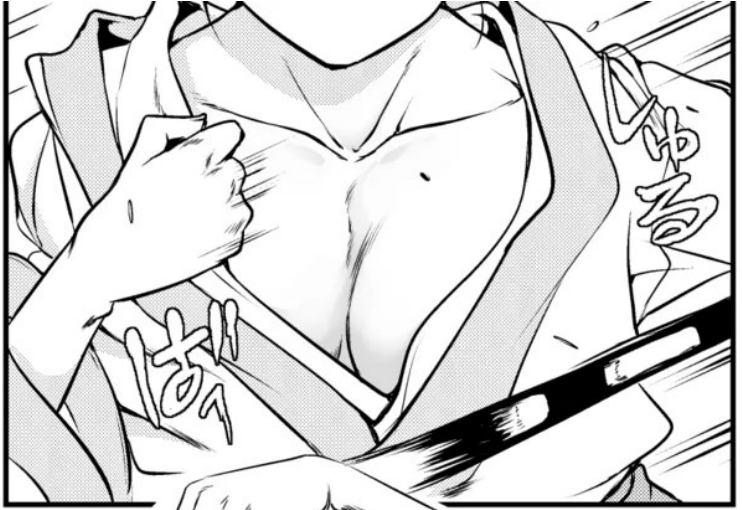
よろしくね
ノーラ

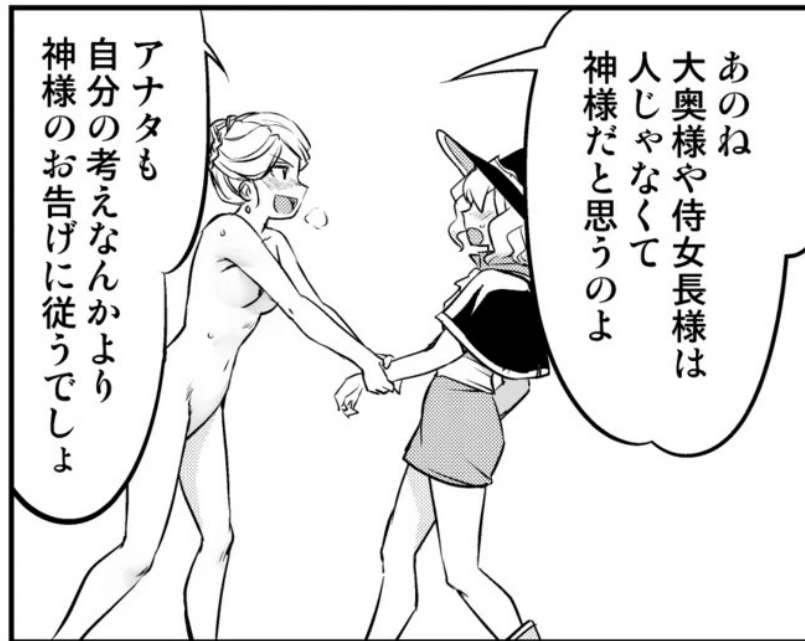
マリー教官は
まだお元気かしら

背も高く
キレイな人

ハウズィ
猿

IPキ





分かりましたか
ノーラ

分かったなら
思い出しなさい

大奥様は
何と仰っしゃい
ました？

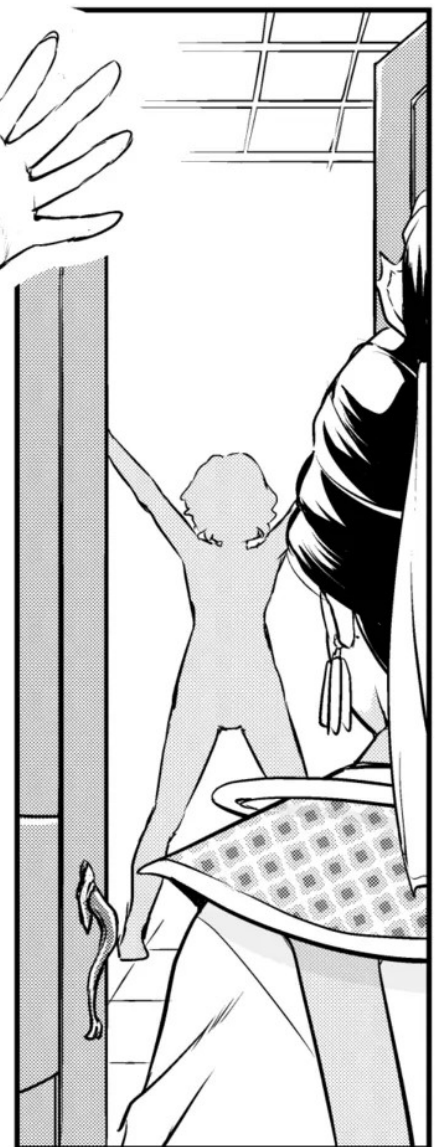


ギ
ィ
ィ



検分を始め
ましょ

よろこぶ



顔は際立った
特徴はないけど

ウエストランド系の
可愛らしい顔だわ

身体の方も
特徴はないけれど

程よい肉付きに
形の良い胸
若いから肌の張りもある

アラお前
脇の方も金髪なのね
これは珍しいわ

剃らないの？

いえ：伸びたと
思ったら剃ってますが
毎日というわけでは

すみません：



力仕事や水仕事で
荒れていない

魔法使いだけあって手は
大事にしていますね



足は纏足てんそくには
手遅れです



いいですよ

背中や尻に
シミやホクロも
目立たない



腰回りも
下品な肉付き
はしてない

脇と違って
こっちの毛は
少し色が濃いのですね

全体的に悪くはないですが特徴もない体ですね

これでは殿下のお目に止まりにくい

脇の金髪は
お前の武器です

これからは切らずに伸ばしなさい
装飾も付けましょう

下の方は平凡なので全部脱毛なさい

普通と逆です
これをお前の売りとしましょう

お前に新しい名前を授けます

イエマオ
脇毛

今日からは
そう名乗りなさい

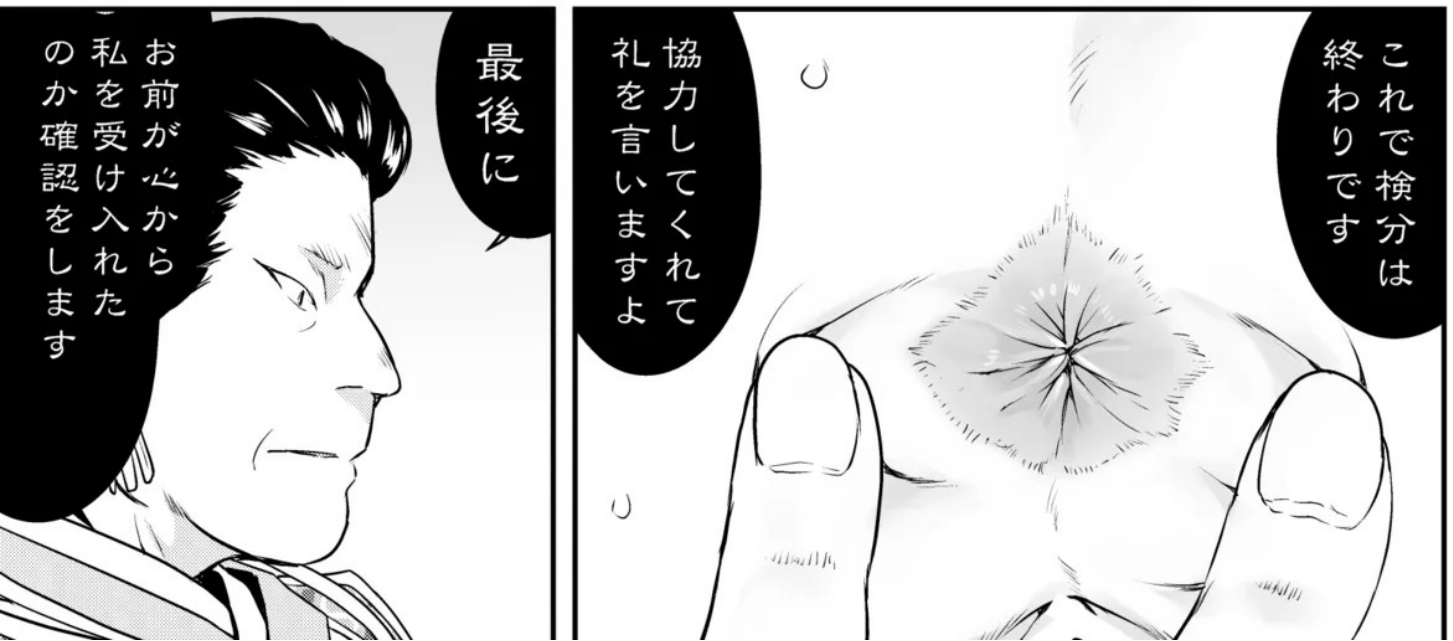
ハイ
大奥様!

え...どうしてみんな笑ってるの

どういう意味?
黒髪族の昔の言葉?

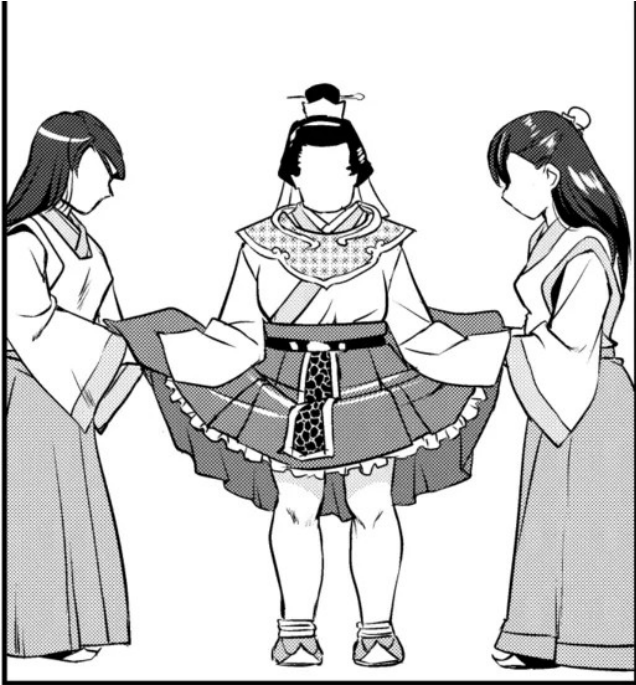
イエマオ

次は大事な女陰と肛門です
さあ見せて

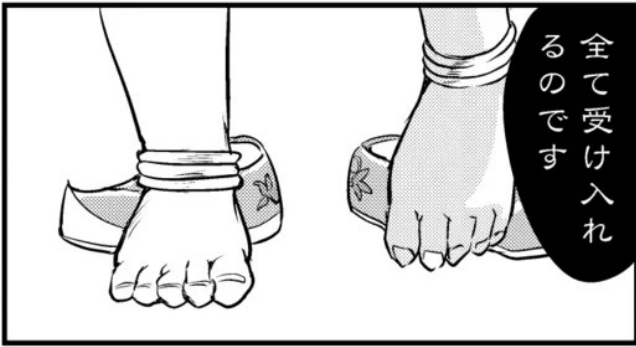


両手をついて跪き
顔を上げなさい

口を大きく
開いて



全て受け入れ
るのです



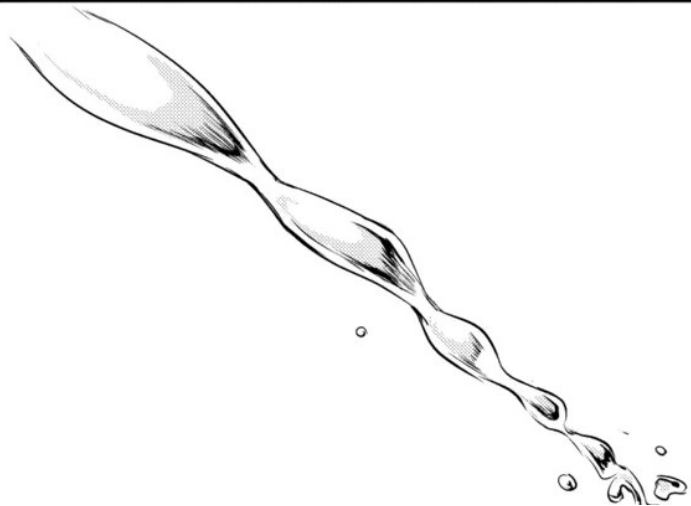
一滴たりとも
こぼしたり

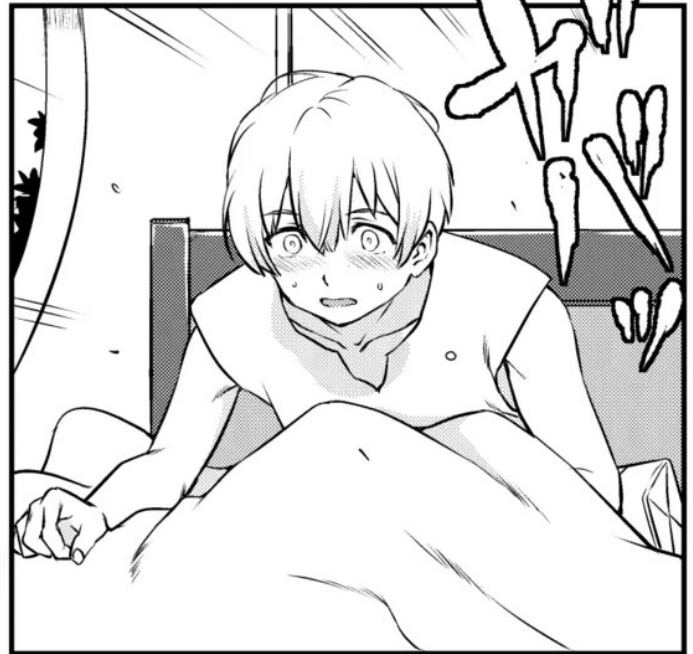
拒絶しては
いけませんよ



この御方は
神さま…

神さま…







ううう
ううう
俺はもう
ダメだ



意外なことに



宦官長のハンは
宮廷で強い力を
持っているらしい

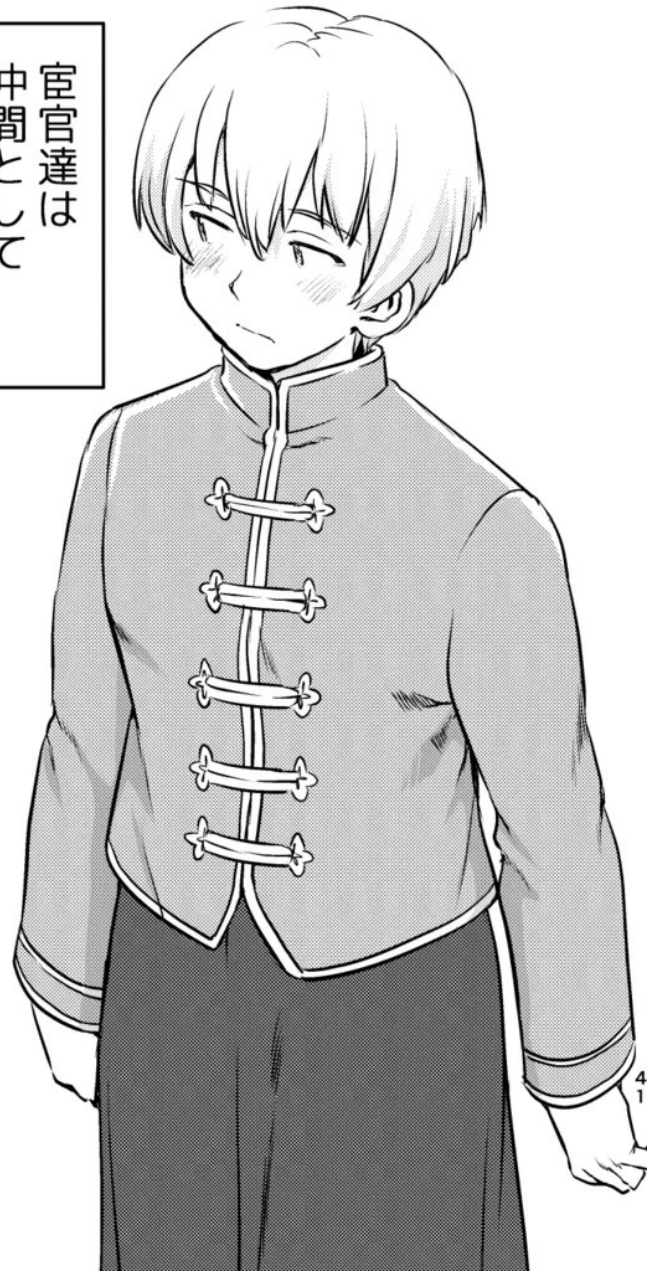
同じ境遇同士
彼らの団結力は強い



宦官達は
仲間として
受入れてくれた



皆良い着物を着て
食にも贅を尽くす



ウエストランドの商人達は私を通して賄賂を送るようになった

我らの権勢は全て殿下あつてのもの

そこを忘れてはならぬ

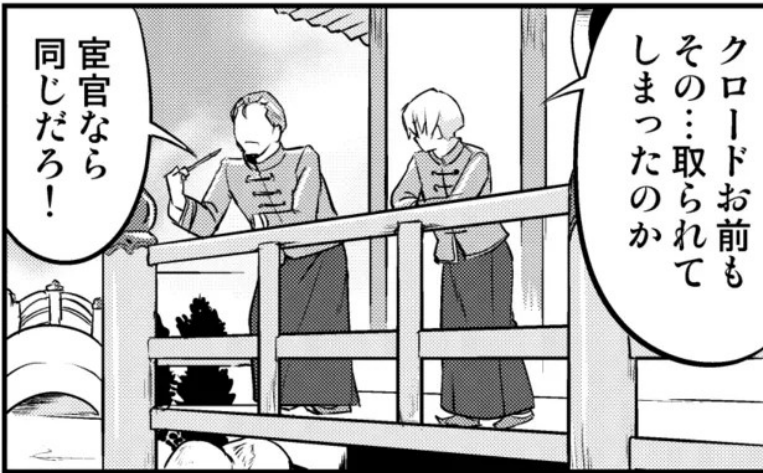
殿下にお目通りする時は決して上から視線を合わせてはならない

ゆっくり喋ったり立って歩くのも禁物だ

低く！短く！早く！移動は音を立てず常に小走りで



クロード!?



宦官なら同じだろ!

クロードお前もその…取られてしまったのか



ヨオ

ネイサン



実家は爵位と手当の送金が始まったら喜んでやがった

こっちは女も抱けなくなつたのにクソが!

ウチもだよ

メイヤー家は
宮廷へ戻りました
新家も買いました
姉さんにも良い縁談が
見つかりそうです
貴方は一家の誇りです

宦官は男として
思う所はあるだろうが
なに所帯も持てるし
跡取りだって
養子を買えばいい

ネイサン
俺は決めたぞ

こうなったら
宦官として出世して
この国を裏から
牛耳ってやる

ここで一番
力を持つてるのは
宦官長のハンだ
まずは奴に
取り入って

頃合いを見て
亡き者として
取って代わる

お前も
協力してくれ
いずれ二人で
国を乗取ろうぜ

オイオイ
落ち着けよ
クロード

話が飛躍
し過ぎだろう

まあ今すぐ
返事とは言わん
考えといてくれ
ただ何十年も先の
話をしてるんじゃないからな

お前も
アレを取られたら
復讐がしてえだろ

絶望して安易に
食欲に走った僕と違い
クロードは埋合わせに
権力を求めるのか
らしいと言うつか

ある意味
前向きで
うらやましい

腕力に自信を失った宦官は
他人の動向に敏感になり
宮殿の噂話は何でも
耳に入ってくる

ここだけの話のだが
君と一緒にいた女が
今後宮にいるみたいだぜ

男でも宦官だけは
後宮への出入りを
許されている

ノーラ…

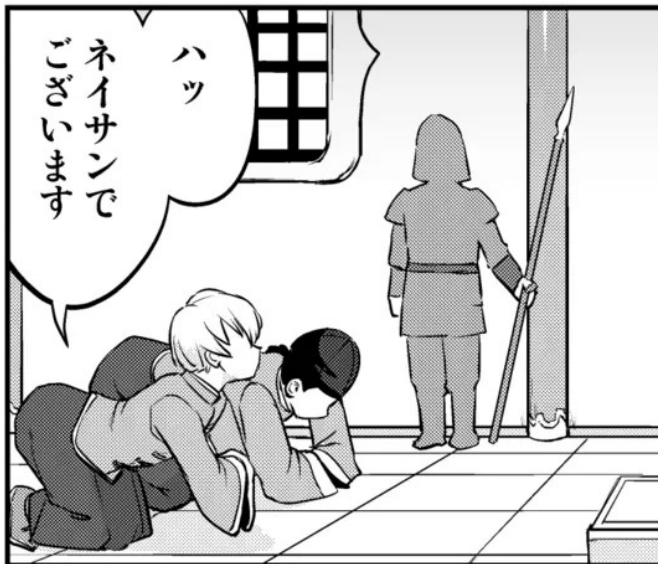


あのノーラが
閨房術の訓練で...



ああ
『元』ノーラの
部屋なら
ここが一番奥よ

でも今は
閨房術の訓練中
しばらく留守ね



ハッ
ネイサンで
ございます



そこな
金髪の宦官
面を上げい

名を何と
申したか



.....
いえ



ところで
一緒だった女だが
アレはお前達の
恋人か許嫁か?

スッ

そうか
なら良かった



そうだそうだ
忘れていた!
お前は森で私を
助けてくれた
男だろう?

ハイ
身に余る厚遇を頂き
日々愉快に過しております

どの道
宦官になった
お前達に

彼女の相手は
してやれないか

それなら
代わりにワシが
相手してやろう

ネイサンお前を
世話係に任命する
今宵に準備を整えよ

ああ

イエマオなら
2日前に部屋に
戻ってますよ

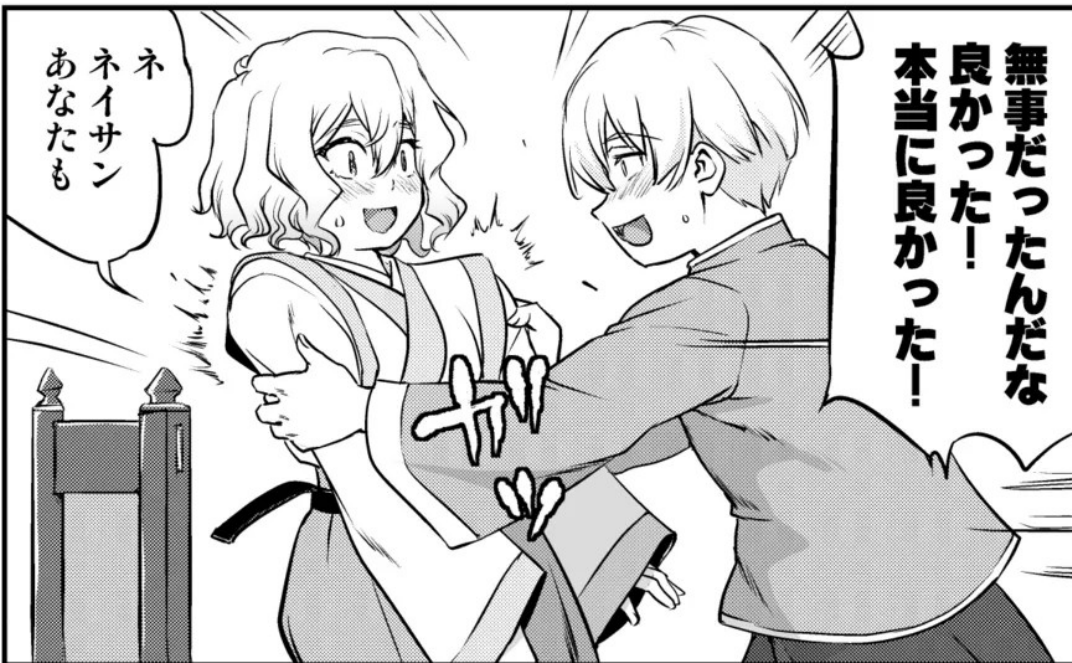
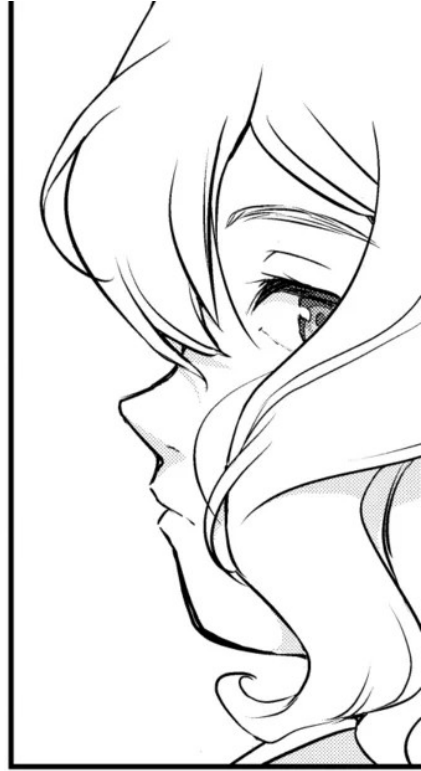


開
いて
ます

ど
う
ぞ

ズ
ズ





無事だったんだな
良かった！
本当に良かった！

ネ
ネイサン
あなたも



ノーラ！



宦官に
なったって
本当なの？

ネイサン
あの…



うう…オレ
何もしてやれ
なくて…
独りにして
ゴメン…
いいのよ
あなたの
せいじゃないわ

あ…ああ



それじゃあもう

女も抱けないし
子供も作れないんだ



それは
そうだけど
この通り
出世したし



実家にも
お金を送って
感謝されてるよ

宦官って
希望者が沢山いて
良家の子弟でも中々
成れないらしいぞ

それで
今日来たのは

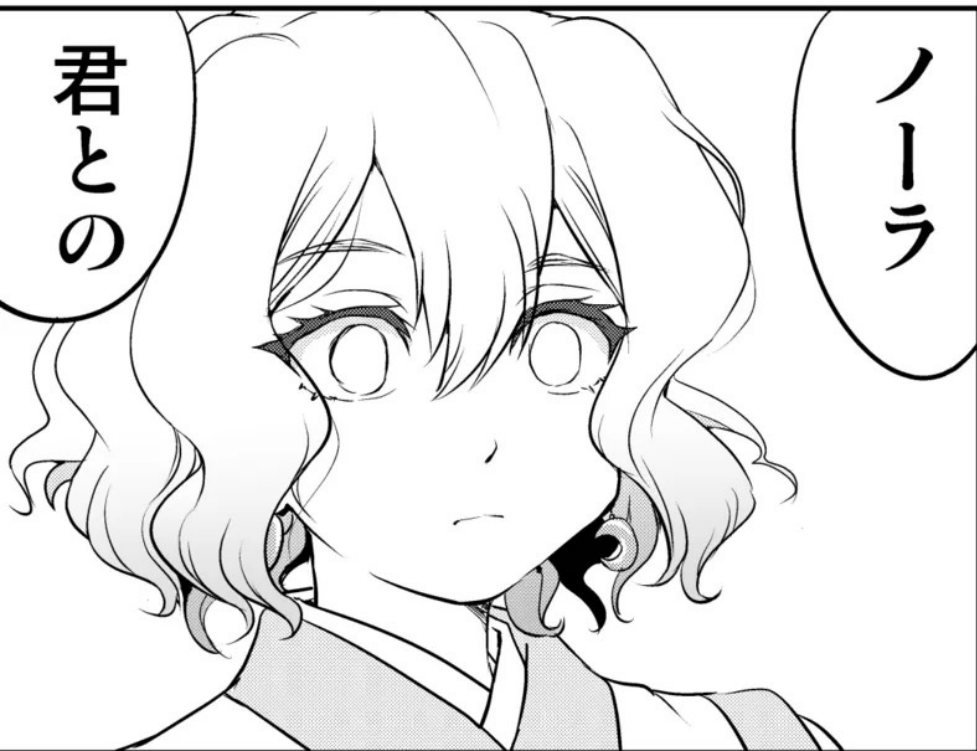
殿下のご所望…
宦官の仕事で

夜伽の打合せを
するためなんだ



ノーラ

君との



ふーん

殿下って

私達が
竜の森で助けた
あの子供よね



ノーラ
何てことを！
声大きい

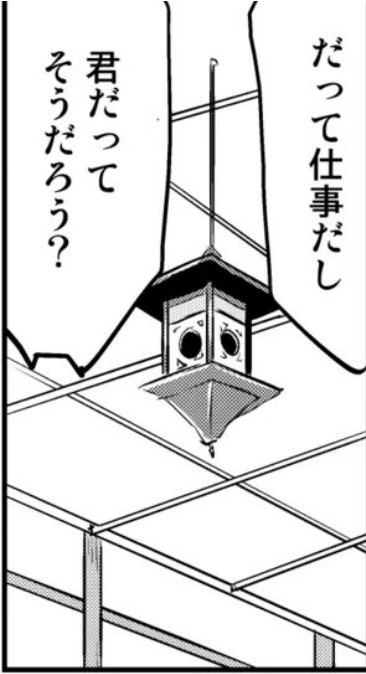
そうだよ
タン国の王子
丹包殿下だ

夜伽には世話役の
宦官が付くとは
聞いてたけど

まさか
ネイサンとはね

だって仕事だし

君だって
そうだろう？



何だ

ノーラの
この態度

僕が喜んで
やっているとでも
思ってるのか



それ
宦官のそこ

どーなってるの？
見せて

は？
何言ってる…

興味あるの
ネイサンが
どうなったのか
見せて



ノーラ！



伽を務める時の
侍女は宦官より
地位は上よね

脱ぎなさい
命令よ

でないとなら
伽を拒否するわよ
世話役は大失態で
今の待遇を全て失うよね

それとも

今から二人で
どこかへ逃亡して
物乞いからでも始める？

脱ぐんだ

へえー
ホントに何も無いのね
ちよつと笑える

毛も
剃っちゃったのね

これ
オシッコの穴？

もう一生
性交できないのね
カワイソー

こんなことなら
さっさと私を襲ってれば
良かったのに

多分抵抗しなかったん
じゃ無いかなー

分かった
もう上げて
いいわよ

恥ずかしかった？
ゴメンね

でも私も
見られるから
おあいこね

夜伽に選ばれた
侍女は『抱かれ組』
と言われて

ここでの
地位が上がり
待遇も良くなる
んだって

私もそのための
指導と訓練
受けてたの

お互い頑張りましょ

今日の
相手はな

以前
ワシの誘いを
無下にした女だ

お越しに
なられたわ

さあ

なんと！
とんでもない
オナゴですな

フフ：いや
むしろ新鮮な
体験だったぞ

キ イ イ イ

ようこそおいで
下さいました
ホウ殿下

イエマオ
脇毛で
ございます

知らぬこと
とはいえ

竜の森で殿下に
働いた無礼どうぞ
お許し下さいませ

ぷははは
なんだ
その出迎えは

お前は

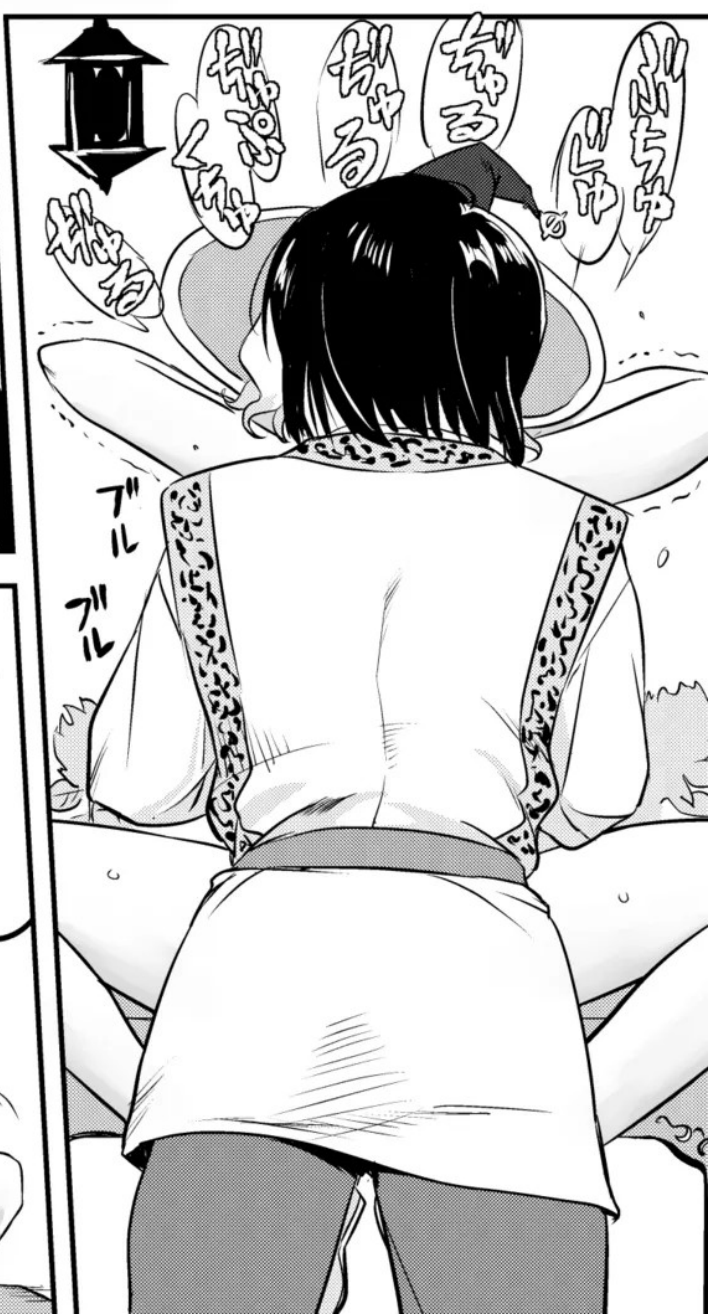
本当にあの時の
女なのか？

その阿呆な謝り方は
奥に習ったのか？

歳上で阿呆な女は
嫌いではないぞ

ホラ今度は
直に触ったぞ

抵抗
しないのか？



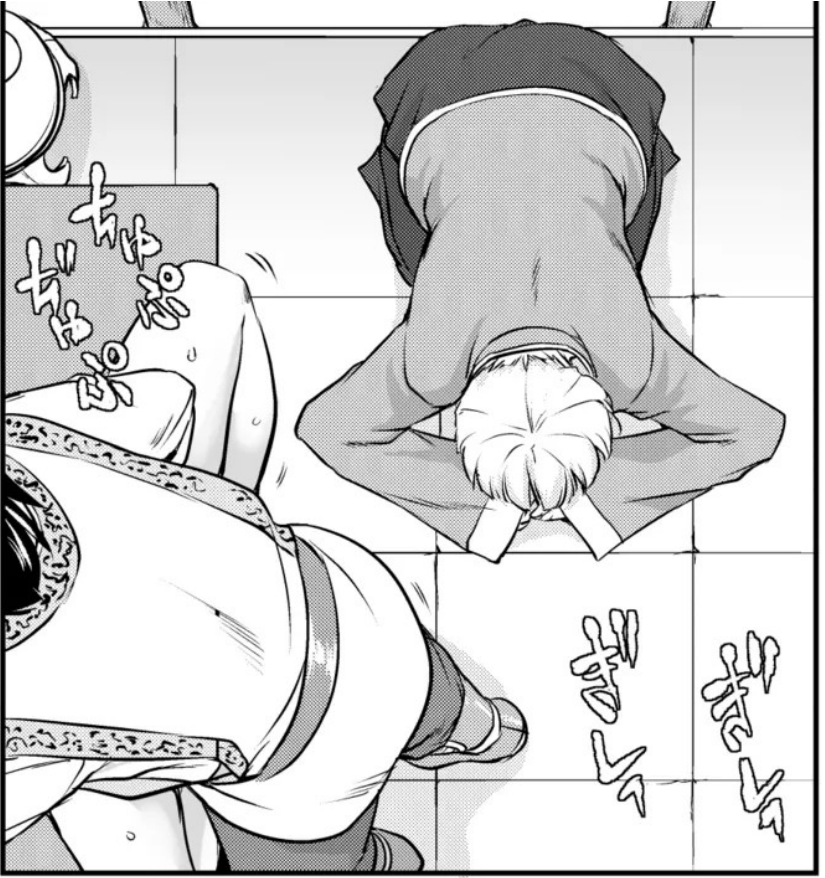
なんだ
されるがままか
少しは気骨のある
女かと思うたが

フフ：
拍子抜けだな

姿勢を崩すな
脇毛



お前はもう
オモチャ
ただの玩具だ



そうか…

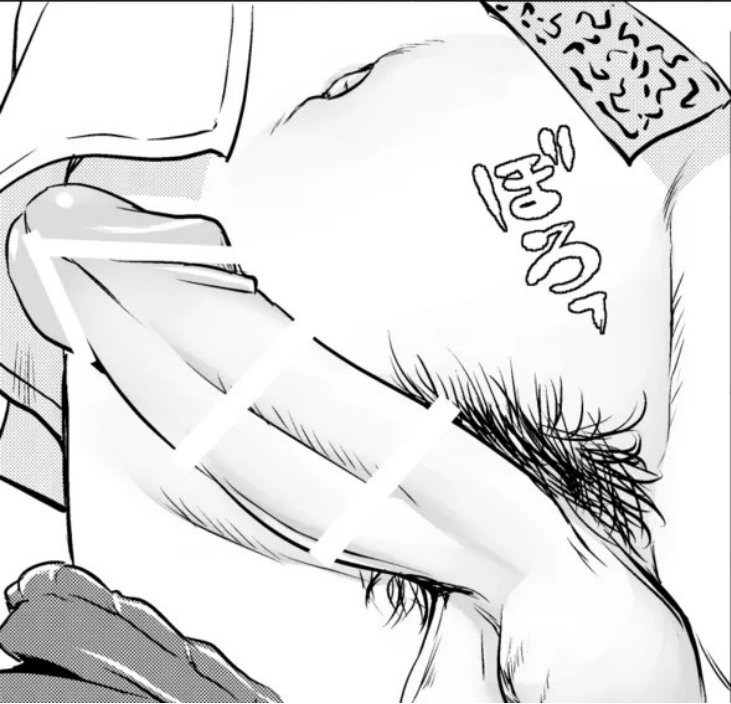
ノーラは
自分のこんな姿を
僕に見られたく
なくて
あんな態度を…

気づいて
やれなくて
ゴメン…



おい
ネイサン
何してる

早くワシの
下を脱がませんか



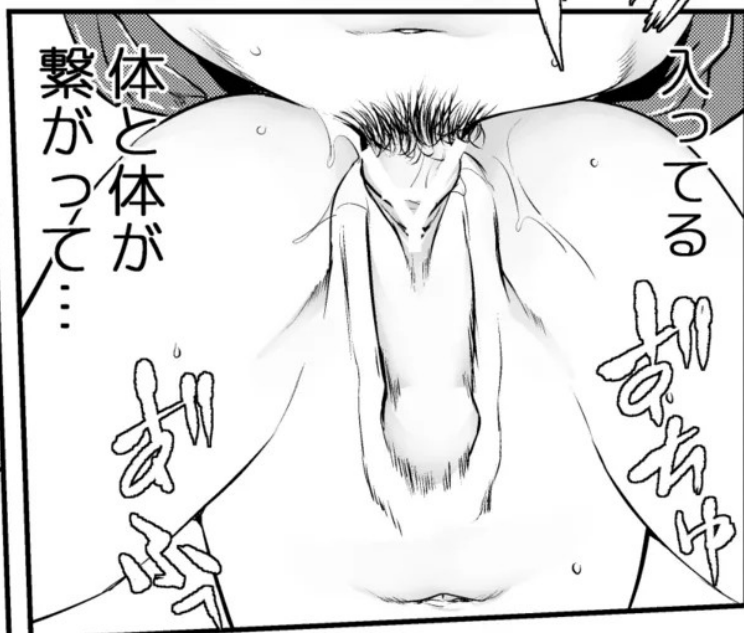
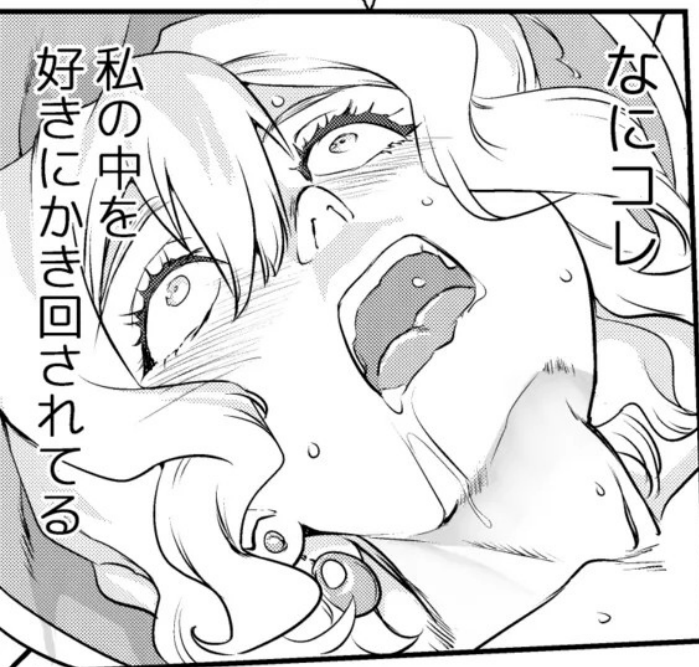
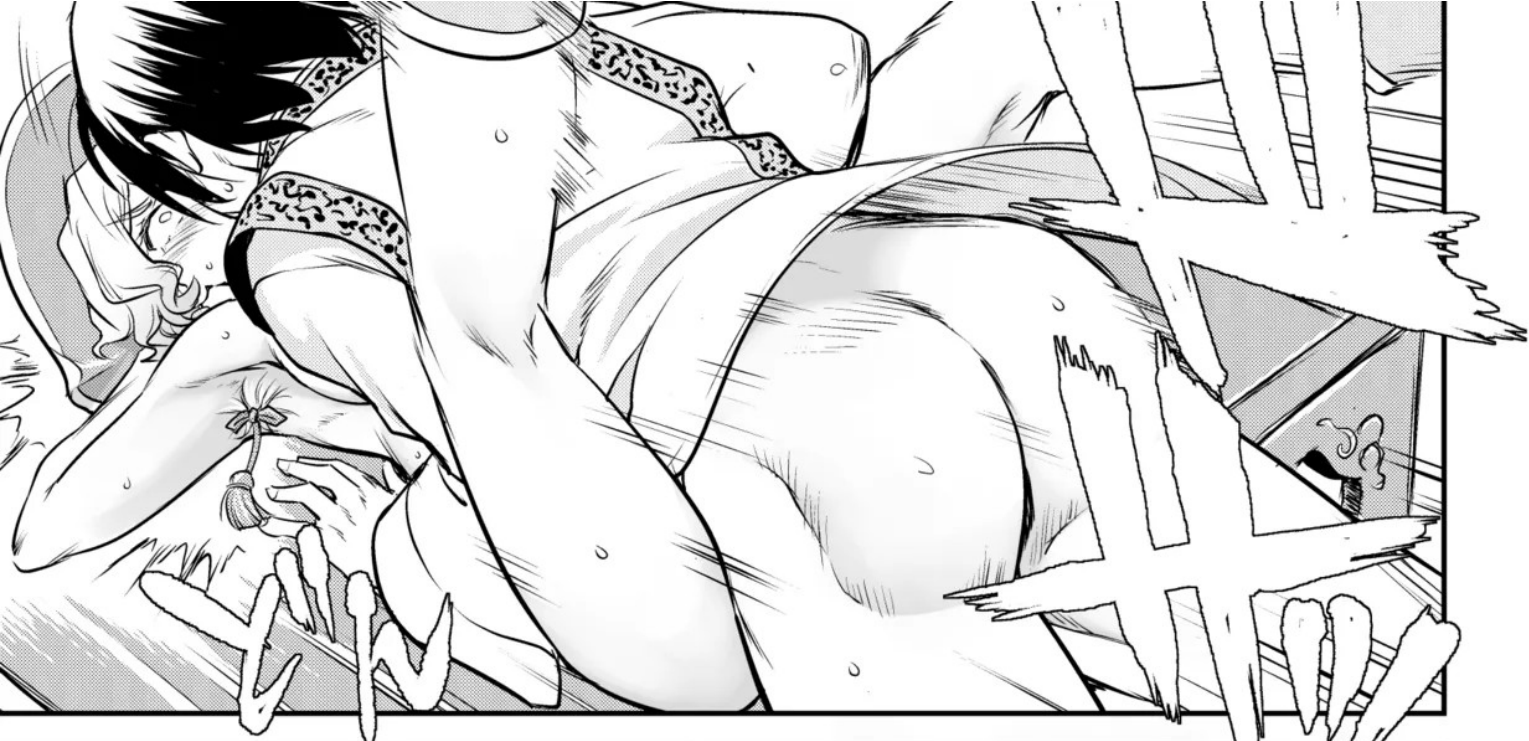
見ておれ
お前の代わりだ

仲間の
破瓜の瞬間なんて
そう見れんだろ

やや上付きで
まあまあ
キツイ方だ

毛がないから
よく見えるよな

オラツ
貫通だ



フフ：必死で
しがみ付きおって

意外と
力強いな

動きにくい
少し離れんか

あ

ひび

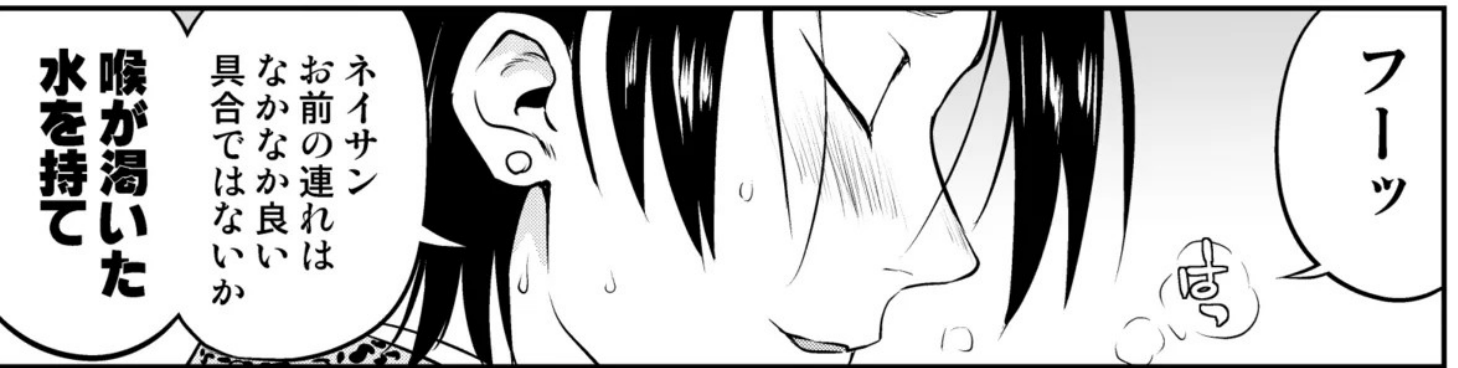
しっかり
見てろ

お前に代わって
たっぷり注いで
やるからな

あ

あ





ネイサン
お前の連れは
なかなか良い
具合ではないか

喉が渴いた
水を持って



わたし大奥様や
侍女長様と

ふふふ

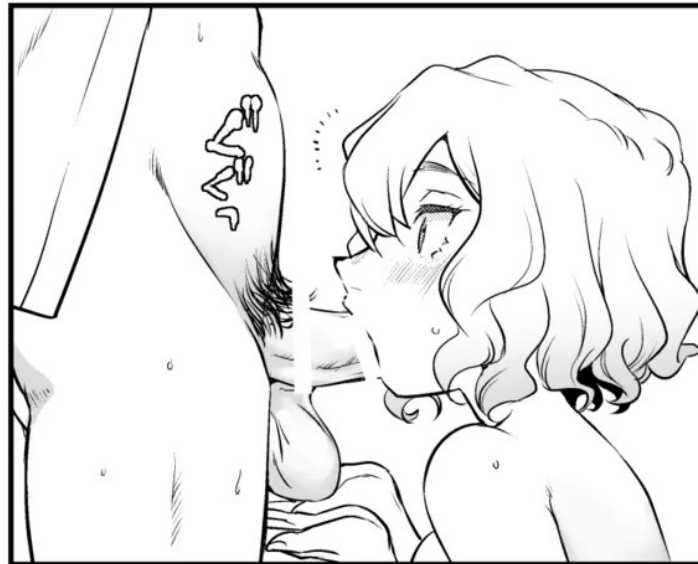
同じ立場に
立ったんだ...



お腹が
あったかい...

この国の
王子様の一部が
私の中にある...

びびび





お：お許し下さい

私は世の中を知らないバカ女でした...

そんなことは聞いてらん

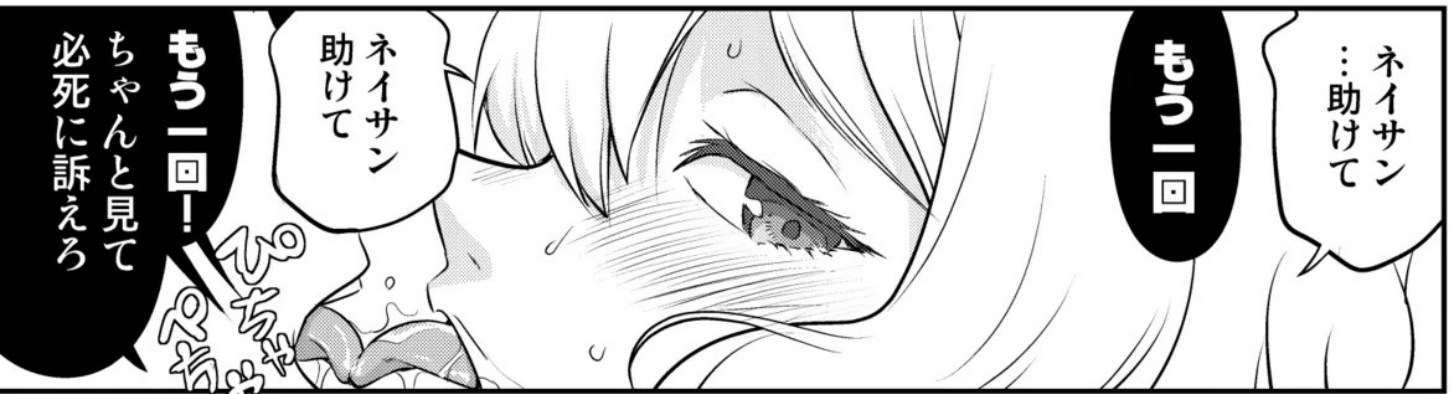
ワシはもう一度言えと言ったんだ

言え

おは

おは

おは



ネイサン 助けて

もう一回

ネイサン 助けて

もう一回！

ちゃんと見て必死に訴えろ

おは



ネイサン 助けてエ！

ネイサン 助けてっさ

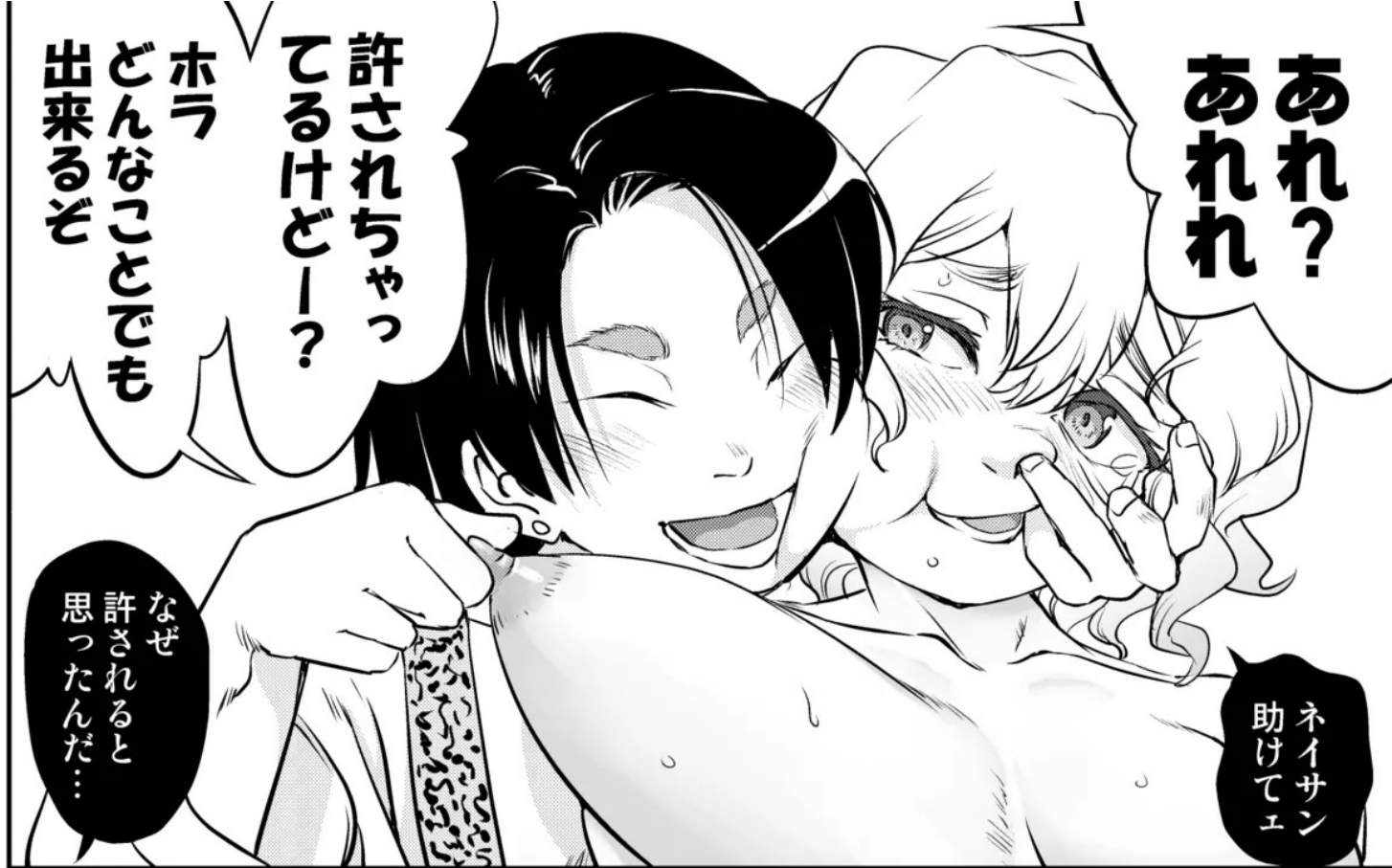
お前はあの時何て言ったっけ？ 聞かせてくれ

め：滅相も ございません お許し下さい 殿下！

お、前、が 言っ、た、こ、と、を もう一度聞かせる

人の気持ちとか 考えないのか？

なぜ許されると 思っただんだ？



あれ？
あれれ

許されちゃっ
てるけどー？

ホラ
どんなことでも
出来るぞ

なぜ
許されると
思ったんだ…

ネイサン
助けてエ

もはや自分を苦しめるだけのプライドなら



いっそ捨ててしまえば楽になる



もう！
殿下は今日も
イエマオの所に

すでに
半月は通って
おいでだわ

飽きられる
までの辛抱よ



ああー
殿下あ

早くお腹を
貫いて欲しい
ですうー

ゆら

ゆら



千里ー
千里ー
千里ー



その
3回以内で
イケ

では3回だけ
出し入れを
許してやる

スベタが

どうか
腰を降ろすことを
お許し下さい



イエマオは
もう我慢
できません

千里ー

千里ー



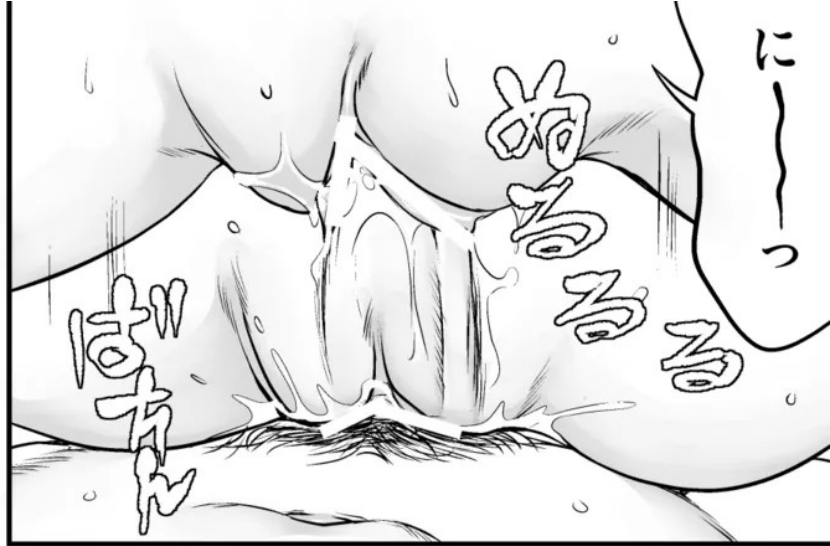
イク時はそう言えよ
見ても分かんからな

ああ
ありがとう
ございます！



あああ

いーち



なんだ
本当に3往復で
イッたのか

チツ
安い女め：
ワシはまだ
出していないのに

ネイサン

そこで
服を脱いで
四つん這い
になれ

ハ…ハイ

お前も見せつけられて
ばかりじゃ辛いだろ

本当に何も無い
哀れな股間だな
少し
気の毒になるわ

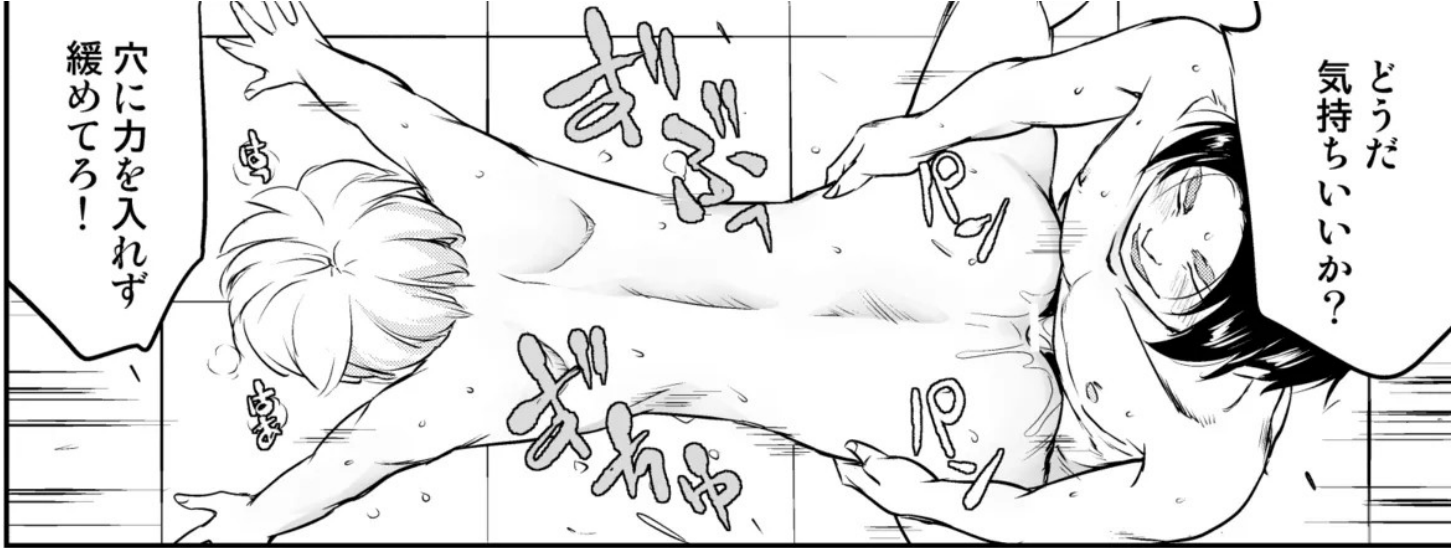
力を抜いて
受け入れろ

逆らって
痛い思いをするのは
自分だぞ

で…殿下

心配いらん

宦官は
小姓に突かれるのを
好むと聞くぞ



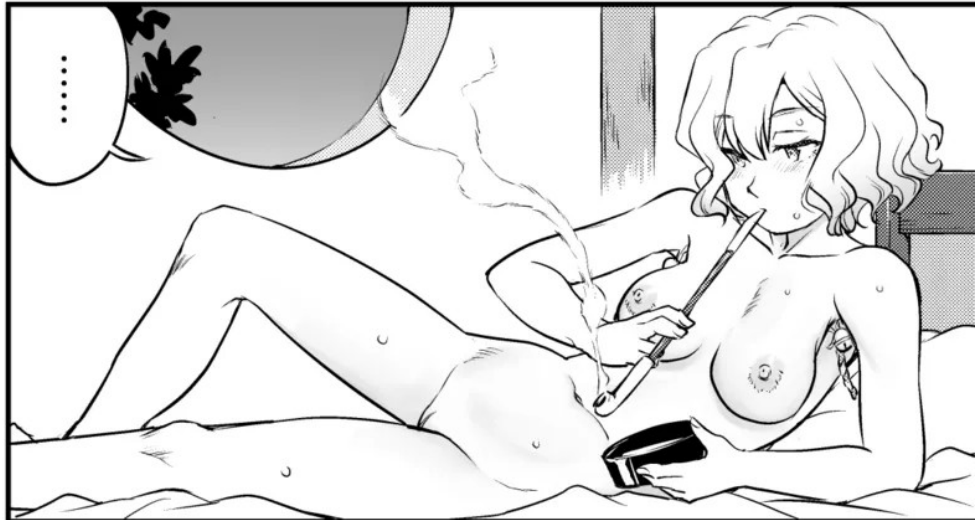
どうだ
気持ちいいか？

穴に力を入れず
緩めてろ！

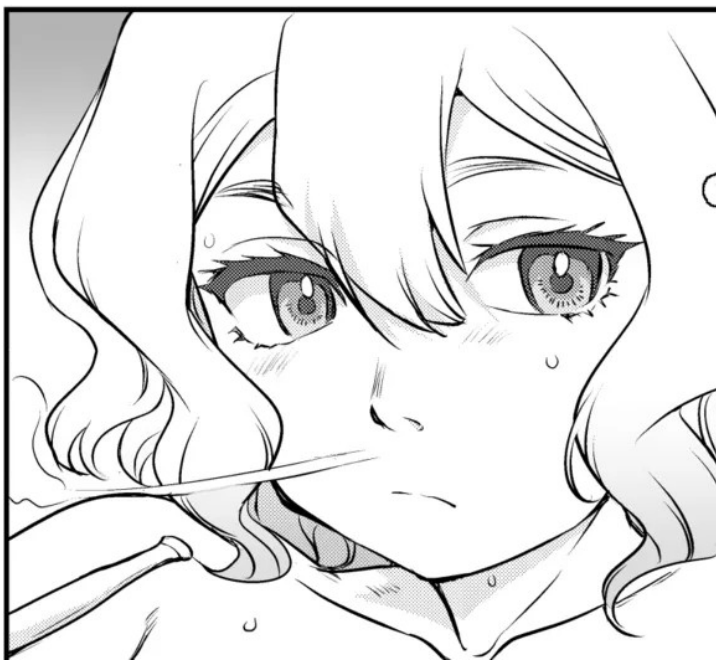
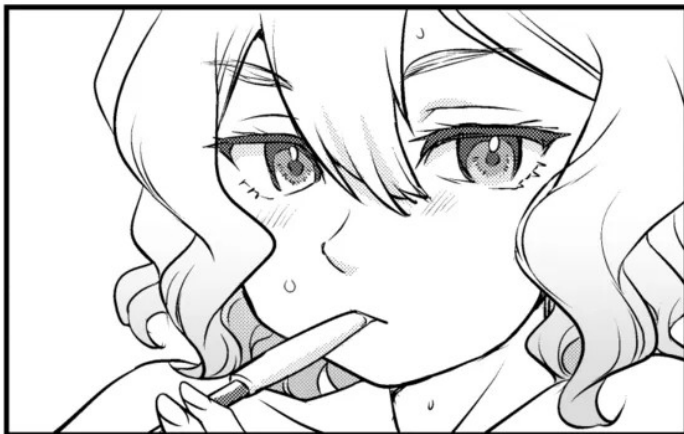


こりや
堪らん

クツ
キツイ

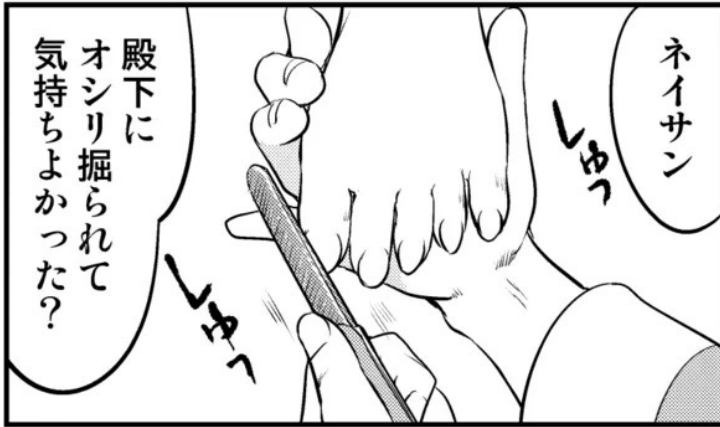


.....



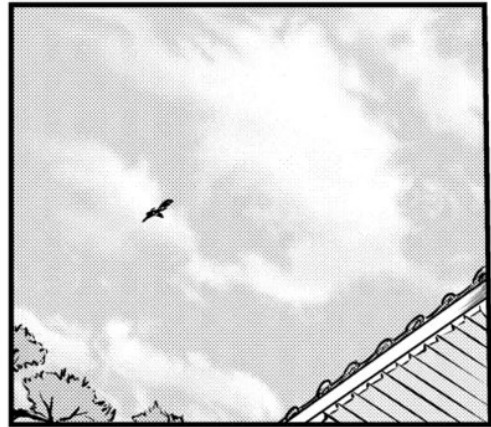


男の尻も
なかなか
良い物だな

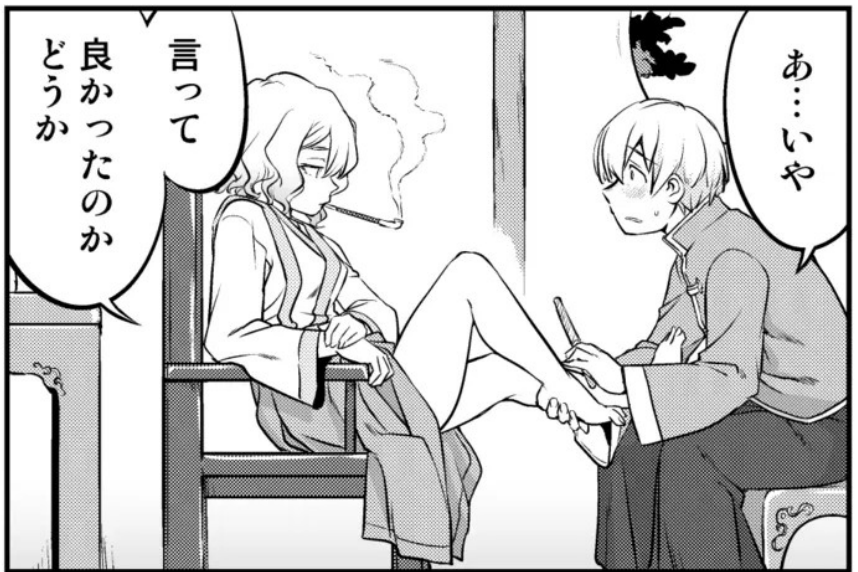


ネイサン

殿下に
オシリ掘られて
気持ちよかった？



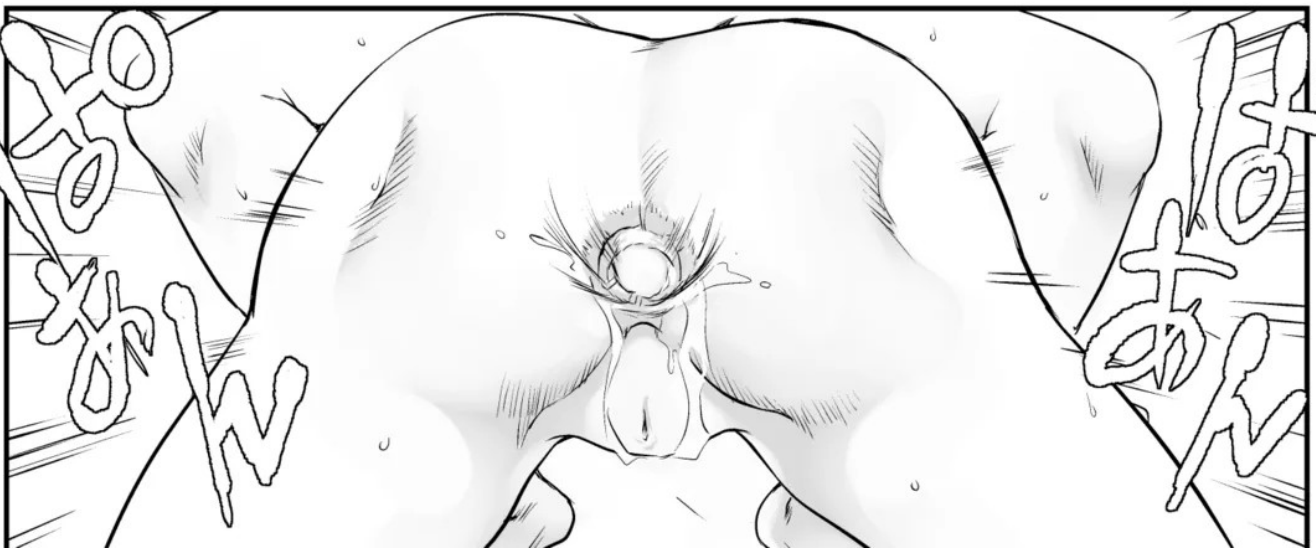
わから
ないよ…



あ…いや

言って

良かったのか
どうか





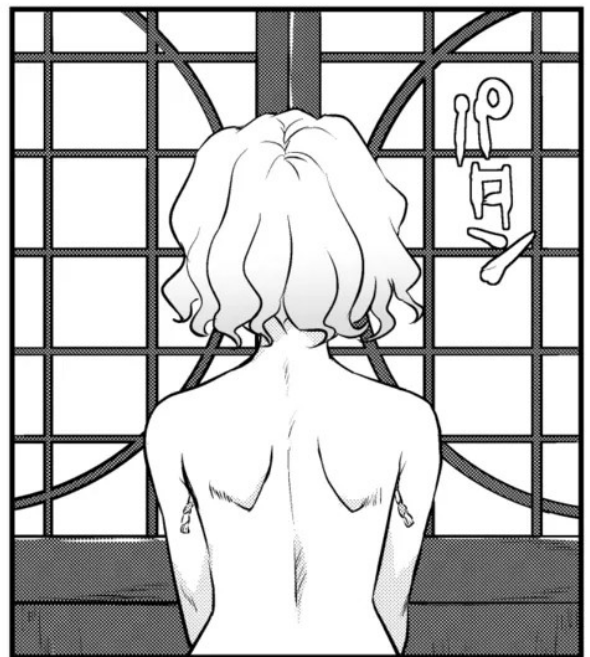
ここにばかり通つてると奥からも注意されたのだ

他の女共から苦情が出ててな



イエマオはまだ入れて頂いてません

殿下
もうお帰りですか



ノーラは…
足の裏も柔らかいんだな



お見送りもせず
いつまで寝てんのよ

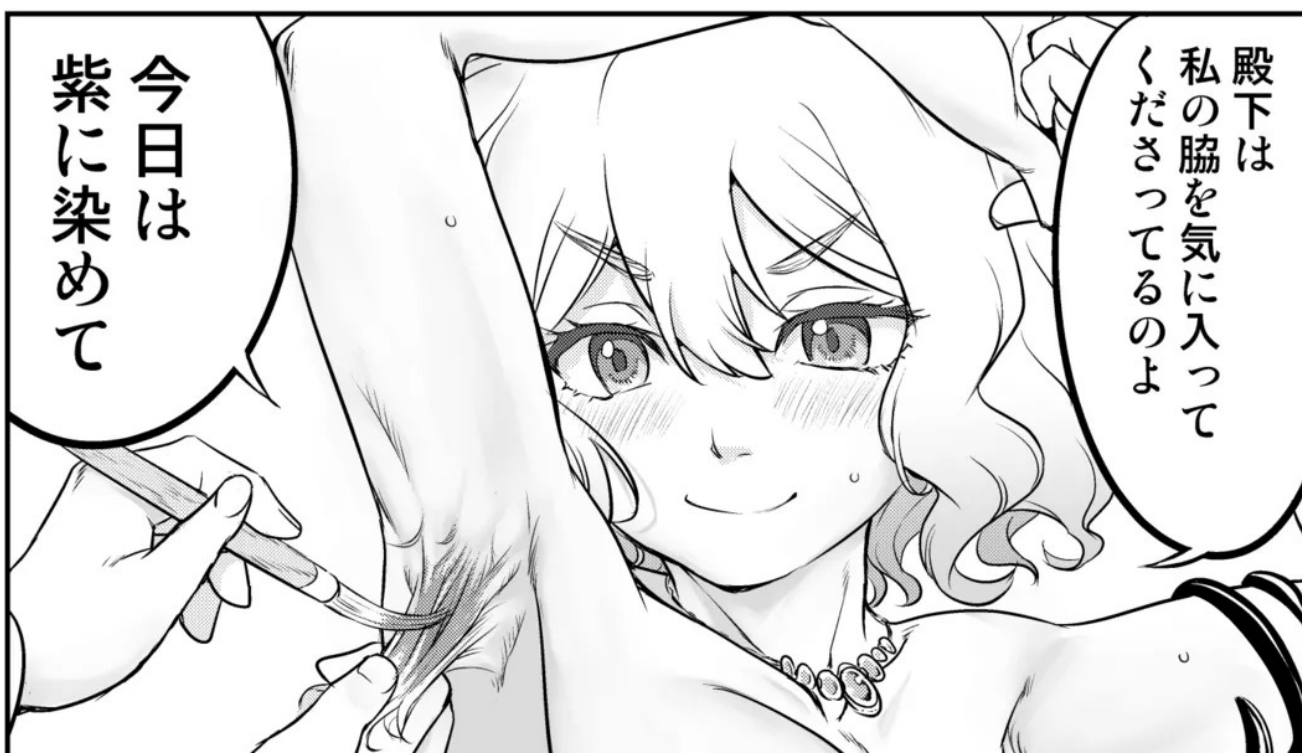
私は
してもらって
ないのに

何でこんな
玉なしにッ!

1週間後

今日も部屋の前を
素通りされて
お寄りに
なられ
なかつたわ！

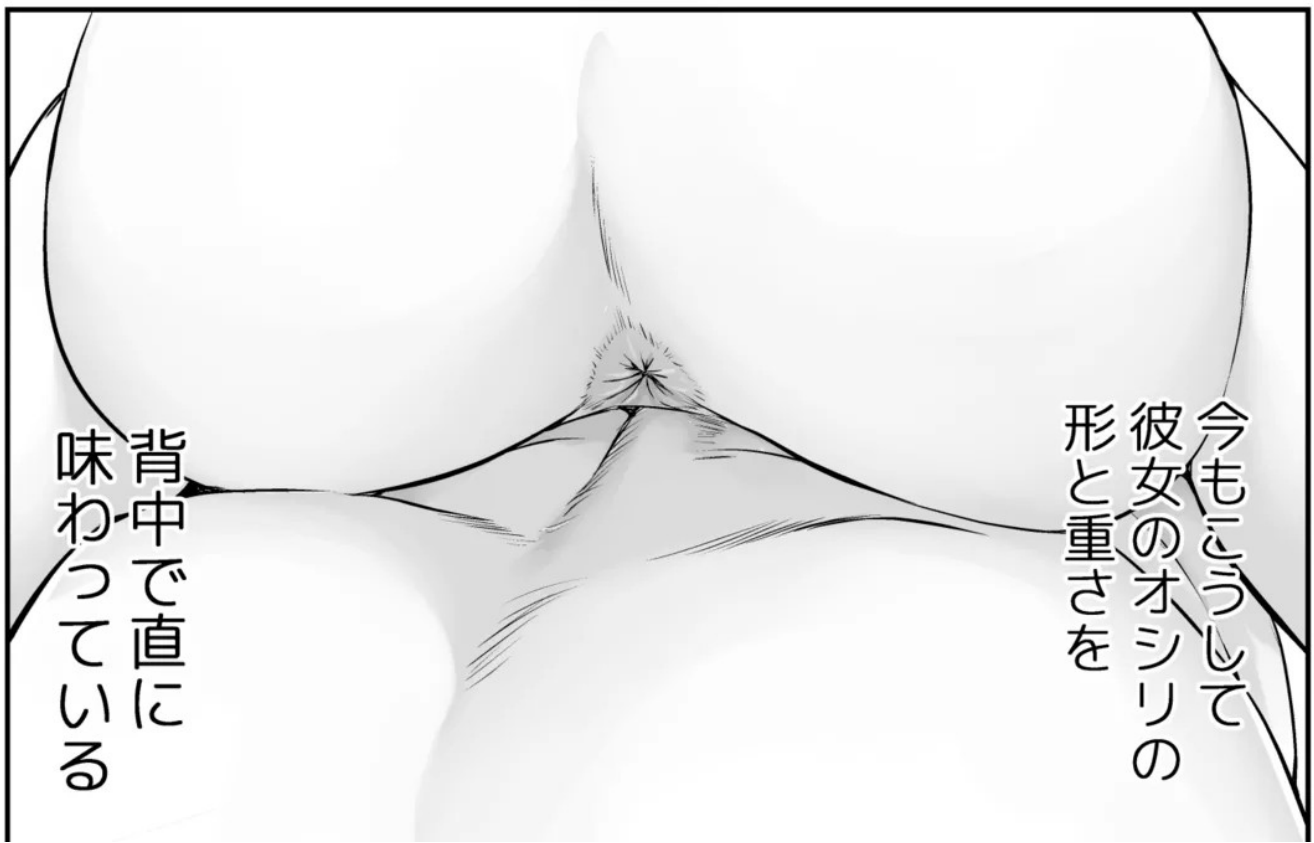
ノーラは変わってしまった

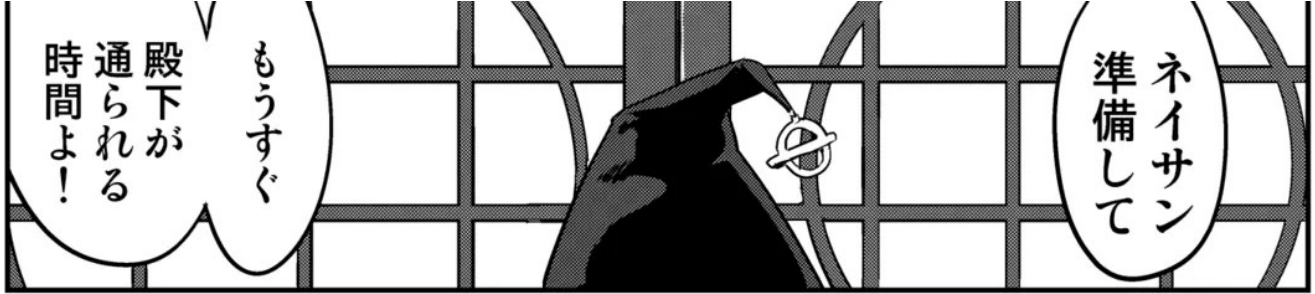


僕たちは『竜の森クエスト』を最高点で終え
国王に謁見し 爵位と安定した職を得た



ノーラとは前よりずっと近い関係になれた





ネイサン
準備して

もうすぐ
殿下が
通られる
時間よ！



今日こそは
この魔法陣
の力で

きつと
イエマオ
脇毛の
部屋の扉を

開けて
下さるわ

クエスト

僕達の冒険は成功したんだ

異世界NTR
王子を助けただけなのに

クエスト編

終わり

次回

異世界NTR
王子を助けただけなのに

トランス編
乞うご期待！

後書き

どうも蛸壺屋です。
2024夏コミはオリジナルエロの2作目です。

異世界+寝取られ+長いタイトルになってます。今風のガワだけ借りて来たような感じですが一応それなりの必然性があります。

告知でNTRにワンアイデアあると言ってたのは主人公が宦官にされるという部分です。NTRで究極の形となると去勢されることだろうと考えました。それで宦官と言えば中国なので、隣国を中国風のタン国という設定にしました。次にエロ漫画で何ヶ月も入院されたり医療的な描写が沢山必要になっても困るので（都合の良い）治癒魔法のある世界＝魔法使いのいる世界となりました。

主人公、魔法使い、他国の王子とくれば世代的に当然ド○クエが頭に浮かぶのでファンタジーRPG＝異世界な世界観となりました。

そしてNTRの究極の形にもう一つ、寝取り男に自分も掘られるというのもあるかと思えます。しかしゴツい男がヤられるのは絵面的にギャグっぽくなってしまいうので主人公ネイサンは中性から女性寄りの外見になりました。

キャラと世界感が固まってからは気分も乗って描けました。

さて今回も普通のエロ漫画的にはこれで終わりっぽい引きになってますが次回はまたここからの続き（後編）を描いてみようかと思ってます。

トランス編です。お付き合いいただければ嬉しいです。

ではまた、次回お会いしましょう。

誌名 異世界NTR 王子を助けただけなのに クエスト編 (ダウンロード版)
発行者 蛸壺屋
発行日 2024年 8月12日

ご意見ご感想は下記アドレスまで
URL <http://takotuboya.jp>
E-mail tk@takotuboya.jp
Twitter @takotuboya
Pixiv 1108775
Circle.ms 10018834

異世界NTR 王子を助けただけなのに クエスト編



異世界NTR

王子を

助けただけなのに

TAKOTUBOYA